GM117A

乗用 3 連ロータリーモア

取扱説明書

「必読」ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS®

Quality on Demand

Serial No.11001-

Ver.1.0

目次

芝刈り機本体マニュアル

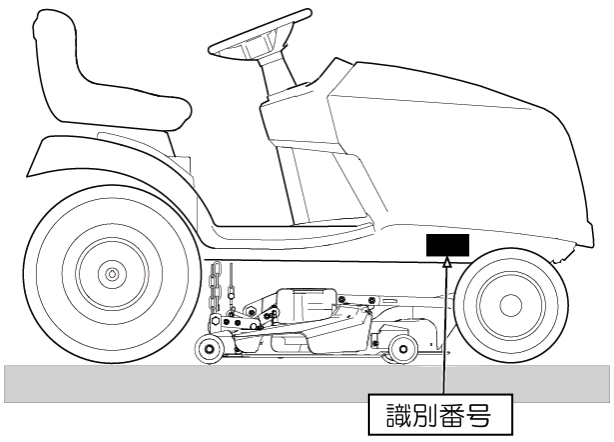
一般情報 ・・・

一般情報

このたびは、バロネス製品をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本機の正しい取り扱い方法と点検方法について説明しています。
機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。
後の参考のためにこれらの本機とエンジンのモデルやシリアル番号を保存してください。

識別番号

識別番号の位置

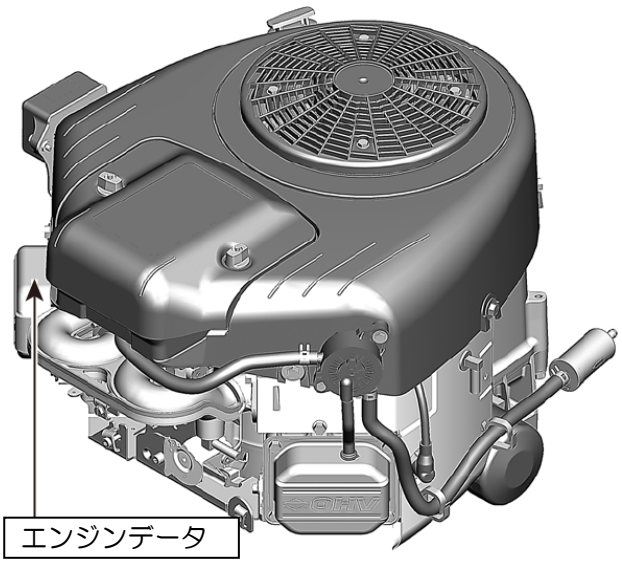


識別番号の内容

交換部品やサービスまたは情報のため販売店に連絡する際には、この番号を控えておいてお知らせください。

下記　製品識別データに、あなたのモデル名/番号、メーカーの識別番号とエンジン・シリアル番号を記録してください。

製品識別データ	
モデル名 乗用３連ロータリーモア	
型式 GM１１７A	製造番号
販売店名	購入日
エンジンデータ	
エンジン　モデル・タイプ・コード番号	



MODEL　40R877
TYPE　　0014B1
CODE　○○○○○○○○

重要な安全に関する案内

この取扱説明書には、機械の初期設定、運転および保守の間に従わなければならない重要な指示が含まれています。今後の参照のため、この取扱説明書を保管しておいてください。

安全に関する記号およびその説明

火災　回転部注意　電気ショック　停止

排気ガス　反動　爆発　オン・オフ

目の保護具の装着　有害な化学物質　高温注意　チョーク

説明書を読む　高速　低速　オイル　燃料

燃料遮断　横転の危険　裂傷事故の危険

この安全警報シンボルは、人身傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報を特定するために使用されます。信号語（危険、警告または注意）は、傷害の可能性および潜在的な深刻さを示す警報シンボルと共に使用されます。また、危険シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。

危険　は避けられなかった場合に、死或いは重症なケガになる危険を示します。

警告　は避けられなかった場合に、死或いは重症なケガになる可能性のある危険を示します。

注意　は避けられなかった場合に、軽い、或いは中程度のケガの可能性のある危険を示します。

注意　（シンボルなしで使用）　は製品の損傷につながる状態を示します。

警告

エンジンの排気ガスにはカルフォルニア州が定める発ガン性物質が含まれており、出生障害や他の障害を発生する恐れがあります。

警告

この製品とその関連したアクセサリの特定の構成要素は、ガン、先天性欠損症または他の生殖の危害を引き起こすことがあることがカリフォルニア州によって指摘されている化学製品を含みます。取り扱い後は手を洗ってください。

警告

バッテリーポストやターミナルおよび接続しているアクセサリーには鉛と鉛化合物を含みます。ーガン、先天性欠損症または他の生殖有害事象を引き起こすことはカリフォルニア州で知られています。 取り扱いの後は必ず手を洗ってください。

警告

エンジンは一酸化炭素という無臭、無色の有毒ガスを排気します 。
一酸化炭素を吸うと、頭痛、倦怠感、目まい、嘔吐、混乱、発作、吐き気、失神または死の原因になる場合があります。

・ トラクターを屋外でのみ運転してください。

・排気ガスが、窓、ドア、換気用吸気口などの開口部を通って密閉区域に入らないようにしてください。

使用目的

本機は、公園またはグランドの芝草刈り作業を目的とした機械です。この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。本機をその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。また、本機は特殊自動車の型式認定を取得していませんので、一般道路は走行できません。

安全の手引き

- このたびは弊社芝刈機をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- この説明書は芝刈機の正しい取り扱い方法と、簡単な点検と手入れについて説明してあります。
- 運転する前に必ずお読みいただき、正しく安全な取り扱いをお願いします。
- 本機の品質には万全を期しておりますが、作動の不具合や部品などに不備な点がありましたら、弊社、購入販売店、または協力サービス工場へご連絡ください。
- この取扱説明書はいつも手元に保管して繰り返しお読みください。
- 取扱説明書に記載された使用方法および保守点検を守らない場合は、本機の故障や事故などの原因となり、機械の寿命を縮めるばかりでなく作業の安全を損ないます。
- お問い合わせの際は、製品の型式と製造番号を、お知らせください。

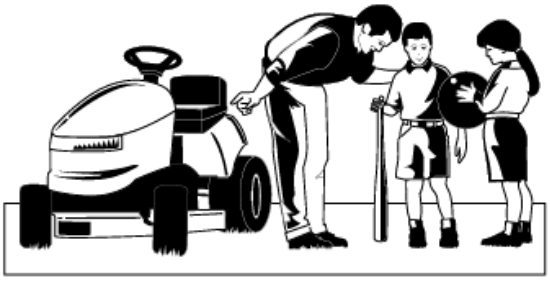
GM117_SP0_001

この芝刈機は、安全のための世界基準を満たすよう設計、製造されています。作業者に安全に使用していただけますが、誤った使用方法やメンテナンスを怠ると重大なケガや死亡事故を引き起こす可能性があります。作業者の安全と周囲の人の安全を守るために、作業者が責任を持って、使用してください。作業中は常に安全を心掛けてください。作業中に安全を確認できない場合は、販売店へご相談ください。

取扱説明書を読むこと

この取扱説明書は、操作前はもちろん操作中の注意事項、重要事項全て含んでいます。安全な運転技術、製品の特長、操作方法、全ての安全に関する情報が含まれ、全てを理解することで製品を最大限使用することが可能となります。
この取扱説明書の安全の情報と操作方法をよく読み、完全に理解してください。

子供を機械に近づけないこと



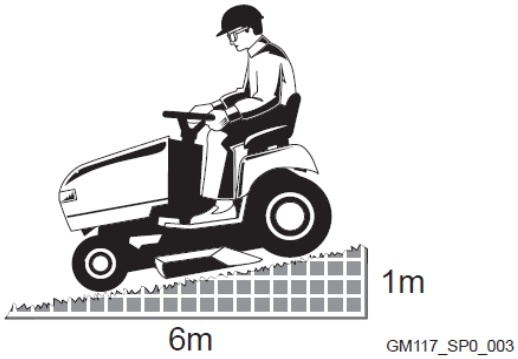
事故は、子供と共に起こることがあります。作業場所には、決して子供を近づけないでください。近づく可能性がある場合は、必ず、責任のある他の大人が監視してください。エンジンが止まっている場合でも、決して子供を機械に乗せてはいけません。重大な事故を引き起こす可能性があります。

後進に関する注意

GM117_SP0_002

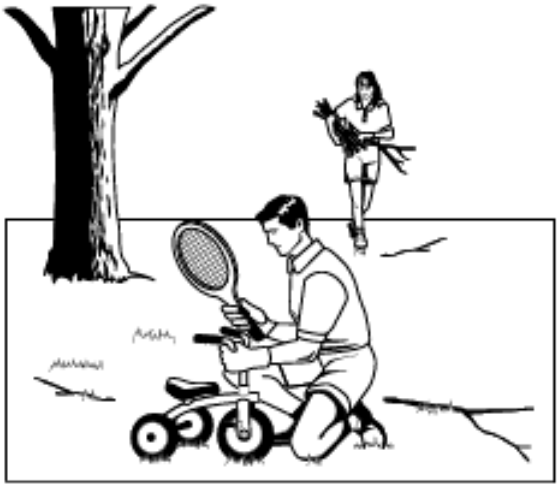
特に必要でない限り、後進しながら芝刈りをしないでください。どうしても後進が必要な場合、常に後方を確認してください。怠ると重大な事故を引き起こす可能性があります。

傾斜地での操作



急な斜面で機械を使用した場合、重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。急過ぎる斜面や補助装置などがない状況で使用すると、コントロールを失ったり、横転する可能性があります。補助装置がない状態では決して傾斜地で操作しないことが一番です。6mで 1m以上上昇する傾斜（傾斜角度 10° 以上）では、決して操作しないでください。
また、傾斜地の表面の状況により、安定性と操作性に影響がでます。濡れていたり、安全が確保できないと判断された場合は、決して傾斜地で作業してはいけません。

稼動部に関する注意



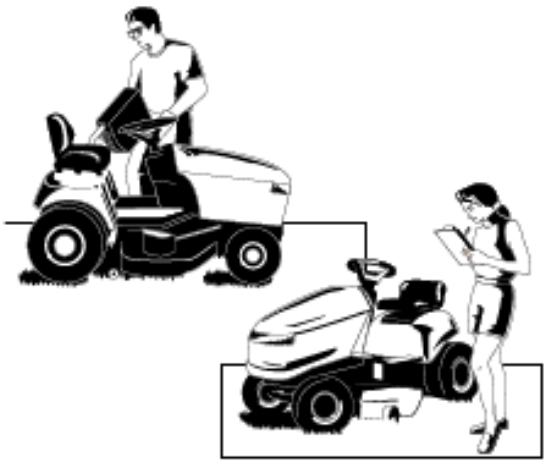
この機械には、回転刃が付いています。障害物があるとナイフが、障害物を吸い上げて吹き飛ばし、重大な事故を引き起こす可能性があります。芝刈りを行なう前に、作業場から障害物を取り除いてください。芝刈機を使用する際は、集草装置を付けるか、サイドシュートを取り付けてください。
もし、作業現場に誰かが入った場合、直ちにエンジンを止め、作業現場から出て行くまで始動しないでください。

障害物に関する注意

この機械には、危険が伴う稼動部が多数あります。しかし、作業者が適切な操作を行なっている限りは、安全に操作できます。デッキには、非常に鋭利なナイフが回転しています。機械が作動中は、決して手や足、体をデッキに近づけてはいけません。この機械にはオペレーターが安全に操作できるために、安全装置が付いています。この安全装置を解除したり、取り外したりしないでください。安全装置が機能していない場合は、直ちに販売店へ相談してください。

燃料とメンテナンスに関する注意

ガソリンは非常に可燃性があります。また、蒸発したガソリンは、非常に可燃性があり、大変危険です。ガソリンは、燃料としてのみ使用し、溶剤やクリーナーとしては決して使用しないでください。火災を引き起こさないために、ガソリンは、機械の燃料タンクにあり燃料キャップがしっかりされているか、燃料缶に入れ、キャップがしっかりされている状態で保管してください。ガソリンをこぼしてしまった場合、すぐにふきとってください。ガソリンの適切な管理は、機械の安全性と操作性に非常に重要です。特に、安全に関するメンテナンスは定期的に点検し、取扱説明書に記載の保守手順を必ず実行してください。



使用上の注意、警告事項

以下の安全事項をよく読み、完全に従ってください。これらの安全事項に従わない場合、機械のコントロールを失い、作業者や周囲の人に重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。また、機械に損傷を与える可能性があります。

この芝刈機は身体や周囲の物に損傷を与えるものを飛散したり、手や足を切断してしまう恐れがあります。

の注意事項、警告事項を必ず守ってください。

一般的な操作

1. 機械を始動する前に、この取扱説明書をよく読み、理解してください。
2. 絶対に稼動部や機械の下に手や足を近づけないでください。特にデッキの排出口には、常に近づけないでください。
3. 機械の操作に精通した大人だけ操作してください。（地域の規制で、運転者の年齢に制限がある場合があります）
4. 作業エリアに障害物（石、おもちゃ、ワイヤー等）が入ってきた場合は、回転刃によって飛散する場合がありますので、作業を停止してください。
5. 作業を始める前に、作業エリアに人がいないことを確認してください。もし、作業エリアに人がいる場合は、作業エリアから離れるまで作業を行なわないでください。
6. 決して人を運ぶために機械を使用してはいけません。
7. 特別な必要がない限り、後進しながら芝刈りをしてはいけません。後進する際は、後方をよく確認してゆっくり後進してください。
8. 芝刈りの際に出る排出物を、人に向けないでください。排出物を壁や障害物に直接ぶつけないでください。排出物が跳ね返り、作業者に戻る可能性があります。砂利などの上を通るときは、必ずナイフの回転を停止してください。
9. 集草バック、サイドシュート、その他安全装置が排出口に取り付けられていない状態での作業は絶対に行なわないでください。
10. 旋回する際は、ゆっくり行なってください。
11. 動いている機械を無人で放置してはいけません。機械から離れる際は、ＰＴＯスイッチを解除し、駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、エンジンキーを抜いてください。
12. 芝刈りをしないときは、ナイフＰＴＯスイッチは停止してください。機械の清掃、グラスキャッチャーの取り外し、サイドシュートの取り外し、排出口の清掃はエンジンを停止し、稼動部が完全に停止したことを確認してから行なってください。
13. 機械の操作は、明るい日中か、十分に明るく光を照らした状態で行なってください。
14. 飲酒泥酔、薬物を吸引した状態で機械の操作をしてはいけません。
15. 道路の近くで操作する際は、交通状態に注意してください。
16. 機械をトラック等に積み込む際は、特に注意してください。
17. 機械を操作中は、常に保護メガネを装着してください。
18. ６０才以上の人が芝刈機を運転する場合に、芝刈機に関連したケガをすることが非常に多いという統計があります。６０才以上の人は自分自身や他の人に大ケガをさせないで安全に芝刈機を運転できる技量があるか良く判断することが重要です。
19. 機械にウェイトをつける際は、製造元が推奨する物を使用してください。
20. 石や大きな枝等を作業前に取り除いてください。
21. 作業者は、他人や他人の財産に関する事故を引き起こした場合、責任を負わなければいけないことを常に意識して作業を行なってください。

22. 全ての作業者が、専門的知識、実用的な操作方法を身につける必要があります。

23. 作業をする際は、必ず長ズボンや安全靴、帽子またはヘルメット、防護メガネを使用してください。裸足、サンダルなどで作業を行なわないでください。

24. 使用前にナイフが安全に確実に取り付いているか目視により確認してください。磨耗していたり、損傷している場合は交換してください。

25. 給油、アタッチメントの取り外し、機械の調整をする場合は、アタッチメントの駆動を停止し、駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、エンジンキーを抜き取ってください。

26. 作業者が機械から離れる際は、どんな理由であれ駐車ブレーキをかけ、ＰＴＯスイッチを「OFF」にし、エンジンを停止し、エンジンキーを外してください。

27. 火災の危険性を減少させるため、機械は、刈芝、落葉、可燃物から離してください。刈芝、枯葉等の近くに停車しないでください。

保管と輸送する際の注意

1. トラックに載せる際は、機械がトラックの荷台の前方にしっかり接触しているか確認してください。もし、後方のあおりに接触している場合は、あおりを破損させる可能性があります。

2. 機械を保管、輸送した後に給油をする際は、安全に的確に給油を行なってください。

3. 通気、換気が十分に行えない場所には、ガソリンを入れたまま機械を保管しないでください。蒸発したガソリンは、非常に可燃しやすいため、非常に危険です。

4. 短期間、長期間の保管に関わらず、保管する際は常に取扱説明書に従って保管してください。

5. 保管後、再び使用する際は、エンジン取扱説明書に従い、適切に始動してください。

6. 燃料缶などをしっかり封ができない容器（湯沸しポットなど）に保管しないでください。機械を保管する際は、エンジンが冷えてから保管してください。

斜面での操作

斜面での作業は、機械が制御不能になる可能性がある大きな要因です（適切に操作を行なわないと、重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります）。斜面における作業は、常に危険が伴います。安全上、補助的な処置が取れない場合や作業場に不安を感じる場合は、決して斜面で作業を行なわないでください。斜面で芝刈機が滑った場合、ブレーキでは制御できなくなります。制御不能を引き起こす主な要因は、以下の通りです。

不十分なタイヤと地面の接地力、スピード出し過ぎ、不十分なブレーキ、機械の能力を超えた作業、作業エリアの状態の認識不足、不適切な牽引の負荷分配など。

１．斜面に対して、上下に芝刈りを行なってください。斜面に対して横切って作業しないこと。

２．穴、溝、隆起した部分に注意してください。不整地により転倒する可能性があります。また、高い芝草により地面の状態が確認できない場合がありますので注意してください。

３．斜面で作業している間は、遅い速度で作業をし、速度調整は行なわないでください。

４．芝生が濡れているときは、作業を行なわないでください。タイヤがスリップし、制御不能になる可能性があります。

５．斜面を下るときは、常にギアを入れてください。機械が滑るのを防ぎます。

６．斜面での始動、停止、旋回は行なわないでください。タイヤが制動を失い、大変危険です。

７．斜面では、全ての作業をゆっくり行なってください。速度の急な調整、急旋回は絶対に行なわないでください。

８．グラスキャッチャーや他の集草装置を使用しているときはより注意してください。それらは、機械の安定性に影響をおよぼします。

９．斜面で作業をする際、足で機械を支えながら行なわないでください。

１０.傾斜角度１０度以上の急斜面、溝、堤防の近くでは芝刈りを行なわないでください。

１１.安全を確信できない斜面では、決して作業しないでください。

１２.ウェイトを機械に取り付ける際は、販売店の推奨する物を使用してください。

１３.必ず低速で作業してください。ブレーキが制動しても､タイヤが制御を失う可能性があります。

１４.必要ない場合は、斜面で旋回しないでください。どうしても旋回が必要な場合は、ゆっくり旋回してください。

警 告

16.7%（10 度）以上の斜面では、決して芝刈機を使用しないでください。16.7%とは水平に6mで 1m上昇する勾配です。

斜面で機械を操作するときは、ホイールウェイトかカウンターウェイトを使用してください。販売店へ適切なウェイトを確認して使用してください。

斜面で使用する前に、低速になっていることを確認してください。

フロントのウェイトに加え、後部に集草装置を取り付けている場合は十分に注意してください。

斜面に対して、上下に芝刈りを行なってください。決して、斜面に対して横切る方向で芝刈りを行なわないでください。
方向転換を行なう際は、十分に注意してください。

斜面で始動、停止を行なわないでください。

牽引装置（乗用タイプ）

1. 牽引ヒッチが取り付いている芝刈機にのみ牽引装置を取り付けてください。牽引部以外には、牽引装置を取り付けないでください。
2. 牽引する傾斜角度や必要なウェイトは、製造メーカーの規定する範囲で使用してください。
3. 牽引された装置に、子供、その他の物・人を決して載せないでください。
4. 牽引装置にウェイトを載せて傾斜で使用すると、芝刈機の制御が失われる可能性があります。
5. 必ず低速で作業し、停止する際は十分な距離を確保してください。

子供に対する注意

子供の存在には、十分注意してください。注意を怠ると重大な事故が発生する可能性があります。子供は、芝刈機に興味を示します。決して子供がいる場合は、作業を行なわないでください。

1. 作業エリアに子供がいる場合は、作業エリアの外側に出すか、作業者以外の大人が子供を監視しているのを確認してから作業を行なってください。
2. 子供が作業エリアの中に入った場合は、すぐに作業をやめエンジンを停止してください。
3. 後進をしているときは、後ろに子供がいないことを常に確認してください。
4. ナイフが回転していない場合でも、決して子供を芝刈機に乗せてはいけません。落ちて大ケガをしたり、安全に芝刈り作業を行なえなくなる可能性があります。過去に芝刈機に乗ったことのある子供は、突然作業エリアに入り芝刈機に近づく可能性があります。
5. 決して子供に芝刈機を運転させてはいけません。
6. 見通しの悪いコーナー、木の周り、障害物等に近づくときは十分に注意してください。
7. ニュートラルの状態で、傾斜を下らないでください。

排気に関する注意

1. この芝刈機のエンジン排気ガスからは、一定の量で人体に害を及ぼす物質が出る場合があります。エンジン作動中は、必要以上に近づかないでください。
2. エンジン排出ラベルで、排出物質を確認してください。

イグニッションシステム

1. このイグニッションシステムは、カナダのＩＣＥＳ-002 に従事しています。

修理とメンテナンスに関する注意

ガソリンの取り扱い

1．タバコ、葉巻、パイプ等の全ての火を消してください。

2．消防法で承認された燃料缶だけを使用してください。

3．エンジンが動いているときに、燃料を補給したり、燃料キャップを外したりしないでください。エンジンを冷ましてから、燃料補給を行ってください。

4．決して屋内で機械に給油を行なわないでください。

5．火の気のあるところでの保管、給油は絶対に行なわないでください。

6．輸送中やトラックの荷台で補給は行なわないでください。トラックや輸送機から離れた場所で補給してください。

7．トラック荷台から芝刈機を降ろして、地上で補給してください。地上に降ろせない場合には、燃料缶などを使用して補給してください。

8．燃料が完全に満タンになるまで、ノズルを燃料タンクの給油口に接触させたままにしてください。

9．燃料が衣服に付いた場合は、直ぐに着替えてください。

10.決して燃料を溢れさせないでください。燃料キャップをしっかり締めてください。

11.ガソリンや他の燃料を扱う際は、十分に注意してください。燃料は、非常に可燃性があります。

12.もし燃料がこぼれた場合、よくふき取り、こぼれた箇所が完全に乾くまで、エンジンはかけないでください。

13.給油が終わったら、しっかりと全ての燃料キャップを取り付けます。

修理とメンテナンス

1．一酸化炭素が発生している可能性がある場所では、決して機械を作動させないでください。

2．ナットとボルト、特にナイフ取り付けボルトは、しっかりと取り付けられているか確認してください。

3．決して安全装置を変更しないでください。定期的に安全装置は点検し、必要であれば適切に修理してください。

4．芝刈機から刈芝、草、その他付着物を取り除いてください。オイル、ガソリンの吹きこぼれはきれいにふきとってください。

5．障害物等にぶつかって停止した場合、再始動する前に、芝刈機を点検してください。

6．エンジンが作動しているときは、決して調整や修理を行なわないでください。

7．集草装置やサイドシュートは、頻繁に点検を行なってください。必要に応じて修理してください。

8．ナイフは非常に鋭利な物です。修理する際は防護手袋等を必ず装着し、十分に注意してください。

9．ブレーキは頻繁に点検してください。必要に応じて修理してください。

10.安全ラベル、警告ラベルはきれいに保ってください。必要に応じて交換してください。

11.こぼれたガソリンが着火する可能性がありますので、エンジンが熱いときは、燃料フィルターは交換しないでください。必要以上に、ホースクランプを広げないでください。燃料フィルターとホースにしっかりとホースクランプが取り付いていることを確認してください。

12.エンジンの燃料システムに損傷を与えるため、メタノールを含むガソリン、10%以上のエタノールを含むガソリン、ガソリン添加物は使用しないでください。

13.ガソリンタンクからガソリンを抜く場合は、屋外で行なってください。

14.不具合のあるマフラーは交換してください。

15.純正部品だけを使用してください。

16.工場出荷時の仕様に従って、設定と調整を行なってください。

17.修理や点検は適切な場所で行なってください。

18.適切な知識や技術がない場合は、大掛かりな修理は行なわないでください。不適切な修理方法は、製造元の保証等を受けることができない場合があります。

19.複数のナイフが付いている芝刈機の場合、1つのナイフが他のナイフを回転させる場合が

ありますので注意してください。

20.エンジンガバナーの設定を変えないでください。エンジンを改造し、エンジン回転を上げると、作業者の危険を上げることになります。

21.清掃、点検、修理、障害物に衝突した場合、サイドシュートを外す等の際は、エンジンを停止し、エンジンキーを抜き、スパークプラグキャップを取り外してから行なってください。

22.芝刈機が動いている際は、ＨＳＴ冷却ファン等稼動部に手などを決して近づけないでください。

警告

油圧ポンプまたは油圧モータが加圧下の状態のとき、作動油は皮膚などに重大なケガをさせるだけの強い力があります。万一、油圧作動油が体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽を起こします。

油圧回路のピンホール漏出やノズルの油漏れを確認する場合は、絶対に手ではなく、紙や段ボール等を使用して漏出箇所を探してください。

油圧部に関する箇所は、頻繁に点検し、油漏れ等がある場合は、販売店へ連絡し修理を行なってください。

警告

不適切なバネの解放は、深刻な人身事故をもたらす可能性があります。熟練した技術者が取り外してください。

警告ラベルと指示ラベル

警告

本機には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。
購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル

この芝刈機は、適切に操作すれば、安全に使用できるように設計、製造されています。この取扱説明書をよく読み、基本知識を理解して操作いただければ、安全に有効にこの芝刈機を取り扱うことができます。操作中に特に重要な説明を警告ラベルとして、機械に貼ってあります。

警告ラベルと指示ラベルの添付位置

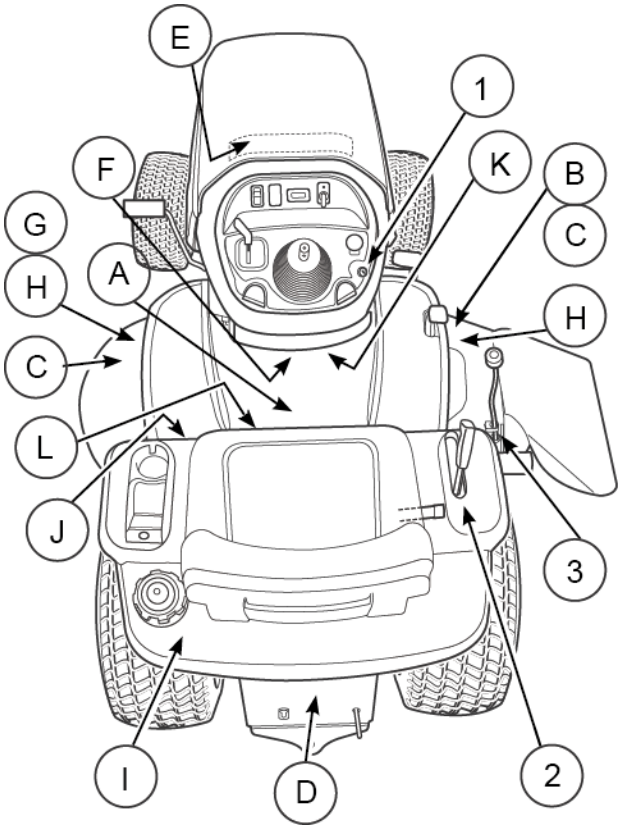
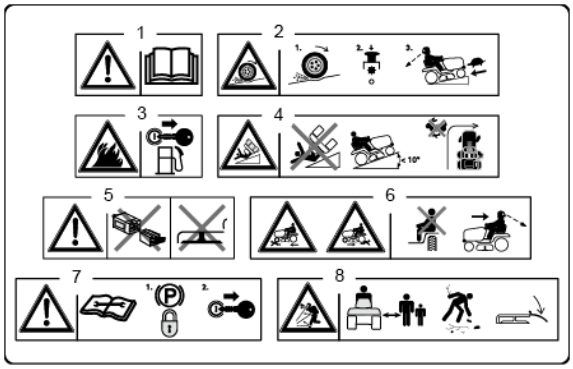
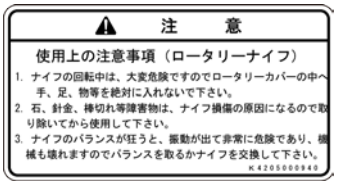
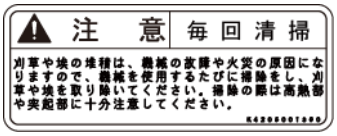


図１　警告ラベルと指示ラベルの添付位置

警告ラベル・指示ラベルの説明

A		ＰＬ1750191 メインパネルラベル 1. **警告** 取扱説明書をお読みください。 2. **危険** 傾斜地でのスリップ、操縦および制御不能の危険 － 機械が傾斜地で前進不能または滑り出した場合、ナイフの駆動を止め、傾斜地をゆっくり下りてください。 3. **危険** 火災の危険 －芝刈機から刈芝、草、その他付着物を取り除いてください。オイル、ガソリンの吹きこぼれはきれいにふきとってください。エンジンが熱かったり、動いているときに燃料を補給しないでください。エンジンを停止し、エンジンキーを抜き、少なくとも３分間冷却してから燃料を補給してください。室内や密閉された場所で燃料を補給しないでください。芝刈機を運転しているときは、タバコ、葉巻等全ての火を消してください。 4. **危険** 斜面に対して、上下に芝刈りを行なってください。決して、斜面に対して横切る方向で芝刈りを行なわないでください。10 度以上の斜面では、決して芝刈機を使用しないでください。斜面では、高速で急旋回を行わないでください。 5. **危険** 手足の切断の危険 --ナイフおよび可動部による損傷を避けるには、 安全装置 （ガード、シールドおよび スイッチ） は決して取り外したり、改造したりしないでください。 6. 子供が周囲にいる場合は、作業を行なわないでください。ナイフが回転していない場合でも、人、特に子供を芝刈機に乗せないでください。特別な必要がない限り、後進しながら芝刈りをしてはいけません。後進する際は、後方をよく確認してゆっくり後進してください。 7. 修理や点検を行う場合は、説明書に従ってください。機械から離れる場合はエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、エンジンキーを

		抜いてください。 8. 周囲にいる人や子供から安全な距離を保ってください。作業エリアに障害物（石、おもちゃ、ワイヤー等）がある場合は、回転するナイフによって飛散する場合がありますので、作業前に必ず取り除いてください。サイドシュートが排出口に取り付けられていない状態での作業は絶対に行なわないでください。
B		ＰＬ5102457 カバー取り付けおよび飛散注意ラベル 集草バック、サイドシュート、その他安全装置が排出口に取り付けられていない状態での作業は絶対に行なわないでください。
C		ＰＬ5102420 手足切断および飛散注意ラベル 回転しているナイフによる損傷を避けるには、デッキの縁をきれいにし、他のものから離しておきます。
D		ＰＬ1730202 トランスミッション油圧解除レバーラベル PTO スイッチを「OFF」にし、エンジンを停止します。油圧解除レバーを引き、駐車ブレーキを解除すると芝刈機を手で押せます。 PTO スイッチを「OFF」にし、エンジンを停止します。油圧解除レバーを押しこみ、駐車ブレーキを解除すると芝刈機を運転できます。
E		K4205000560 マフラー注意マーク
F		K4205001660 公道乗車禁止マーク
G		K425000940 ロータリーナイフ注意事項

H		K4205000670 ベルト回転物注意マーク
I		K4205001680 火気厳禁ラベル
J		K4205001360 掃除ラベル
K		K4205001700 排ガス注意ラベル
L		K4205001330 騒音注意マーク
1		PL1722806 エンジンスイッチラベル
2		PL1730263 リフトコントロールラベル
3		PL1737541 刈高ラベル

各部の名称と機能

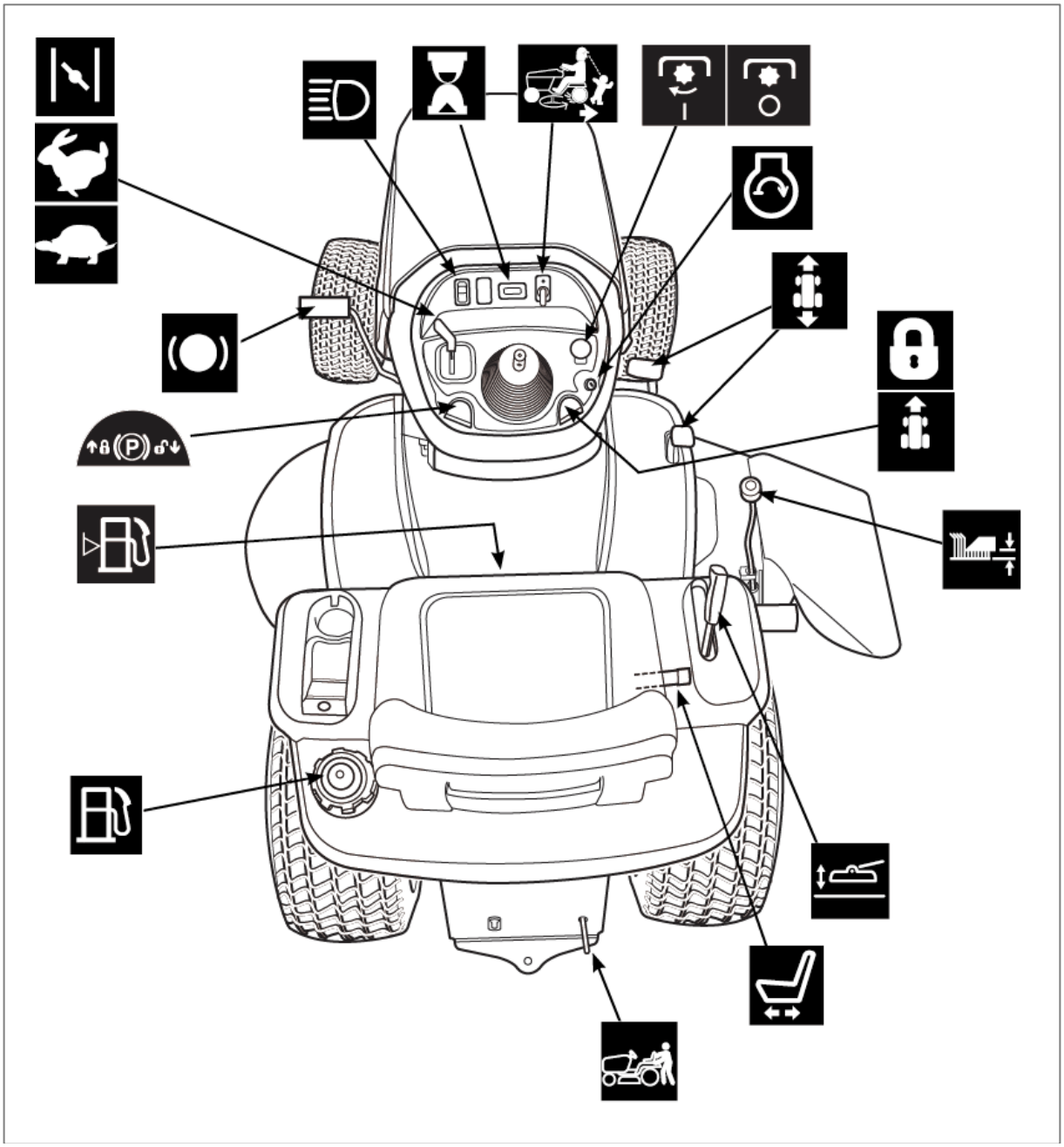


図２　各部の名称と機能

操作機能の説明

以下に個別の操作機能を説明します。始動、停止、運転、芝刈りその他の作業をする際、複数のコントロールをする必要があります。各操作方法を理解するためには、「操作」の項目を参照してください。

トラクターの取り扱い

スロットル/チョークコントロール

エンジン速度を上げるには FAST へ、エンジン速度を減少させるには SLOW へスロットル/チョークレバーを動かしてください。 常に、フルスロットルで運転してください。冷えたエンジンを始動するときには、スロットル/チョークレバーを CHOKE 位置に固定して始動してください。

ヘッドライトスイッチ

ライトスイッチを押してトラクターのヘッドライトを「ON」 または「OFF」としてください。

アワメータ

キースイッチが「ON」となっている間の運転時間を示しています。

RMO スイッチ
（後進刈オプションスイッチ）

この芝刈機は通常、ナイフ回転時に後進をするとエンジンが停止する安全装置が付いています。その安全装置を解除するスイッチです。ナイフ回転ＰＴＯスイッチが「ON」の状態で、このＲＭＯスイッチをひねるとＬＥＤランプが点灯します。この状態であれば、後進で芝刈りを行なうことができます。

PTO スイッチ（ナイフ回転）

PTO スイッチは、ナイフの回転の「ON」「OFF」の切り替えをするスイッチです。このスイッチを引き上げると、ナイフが回転します。ナイフの回転を停止するときは、このスイッチを押すと停止します。

*操作する人が座席にしっかりと座っていないとこのスイッチは作動しません。

エンジンスイッチ

エンジンスイッチはエンジンの「OFF」「ON」「START」の３ポジションとなっています。

OFF

エンジンを停止および電気回路が切れます。

ON

エンジンの運転中と電気回路が作動します。

START

エンジン始動

注意: エンジンスイッチが「ON」の位置でエンジンが停止したまま、オペレーターは離れないでください。バッテリーが低下します。

スピードペダル

芝刈機の走行速度は、前進スピードペダルを踏み込むことで調整できます。後進するには、後進スピードペダルを踏み込みます。

＊ ペダルを強く踏み込めば、走行速度は速くなります。速度の出しすぎに注意してください。

クルーズコントロール

クルーズコントロールは、前進時にスピードを一定にするために用いられます。クルーズコントロールは５段階となっています。

刈高調整

芝の刈高を調整するには、ハンドルを回します。時計回りにハンドルを回転するとモアデッキがあがり、反時計回りに回転するとモアデッキが下がります。
刈高は 20～102mm の範囲で調整できます。

リフトコントロールレバー

リフトコントロールレバーは、モアデッキを上げ下げして、移動時とフリーの２つの位置を保ちます。芝刈りをするときにはレバーをフリーにセットしてください。芝刈りをせずトラクターを使うときやトラクターを移動するときは、レバーを移動にセットしてください。高くなった移動のデッキ位置で PTO を「ON」としないでください。ベルトを損傷する恐れがあります。

シート調整レバー

シートを前方と後方に調整することができます。レバーを動かして、シートを希望の位置にして、レバーを離し、固定してください。

トランスミッション油圧解除レバー

トランスミッション油圧解除レバーは、芝刈機を手で押せるようにするための油圧解除レバーです。

「トラクターを手で押す」 の項参照

燃料タンク

キャップを外すためには、反時計回りに回転させてください。

燃料計

タンク内の燃料の残量を示します。

駐車ブレーキノブ

駐車ブレーキノブは、芝刈機が停止しているときに、ブレーキをロックさせるために使用します。

ブレーキペダルを完全に踏み、ノブを引き上げるとブレーキはロックします。

ブレーキペダル

芝刈機を停止させるためにブレーキペダルを踏み込みます。

一般的な運転の安全

この芝刈機を運転しようとする前に、「運転者の安全」の項にあるすべての内容を読んでください。すべての制御および装置の停止方法を、良く理解してください。

警告

この安全装置が完全に機能していない場合、芝刈機を使用してはいけません。販売店へご相談ください。安全装置を改造しないでください。

セーフティ インターロック システムのテスト

この芝刈機には、安全装置が付いています。これらの安全装置は、作業者の安全を守るために付いています。決して取り外したり、改造したりしないでください。定期的に安全装置を点検し、正常に作動するか確認してください。

テスト１　エンジンがクランクしない

- PTO スイッチが「ON」となっている
- ブレーキペダルが充分に踏み込まれていない（駐車ブレーキが「OFF」）
- クルーズコントロールレバーが中立となっていない

テスト２　エンジンが始動できるには

- ＰＴＯスイッチが「OFF」の状態
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれている状態（駐車ブレーキが「ON」）
- クルーズコントロールレバーが中立の位置にあるとき

テスト３　エンジンを停止させるには

- PTO スイッチが「ON」の状態で作業者が座席を離れる
- ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない（駐車ブレーキ　「OFF」）状態で、作業者が座席から離れる

テスト４　ナイフブレーキの点検

ナイフとデッキドライブベルトは、ＰＴＯスイッチを「OFF」または作業者が座席から離れると、5 秒以内に停止します。もし、5 秒以内に停止しない場合は、販売店に相談してください。

テスト５　RMO（Revers mow Option）スイッチの点検　（後進刈オプションスイッチ）

- ＰＴＯスイッチが「ON」の状態、かつＲＭＯスイッチが機能していない状態で後進するとエンジンは停止します。
- ＲＭＯライトは、RMO が機能しているときに点灯します。

参考: 一旦エンジンが停止したら、作業者がエンジンを始動するために座席に座った後、PTO スイッチを押して「OFF」にしなければなりません。

エンジンの取り扱い

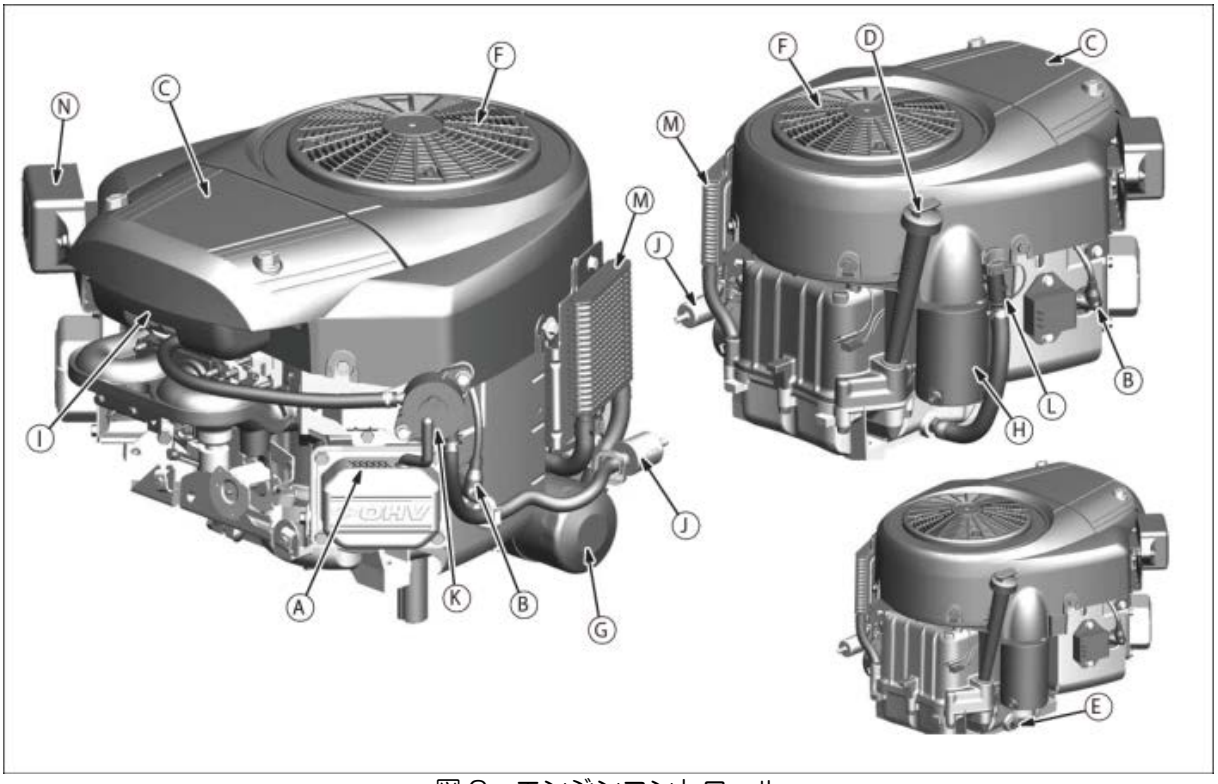
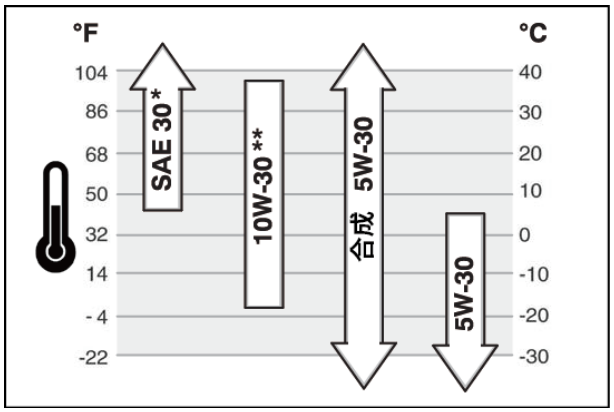


図３　エンジンコントロール

A.「モデル・タイプ・コード」番号表示位置
B. スパーク・プラグ
C. エアクリーナー
D. オイルゲージ
E. オイルドレンプラグ
F. ローテーティングスクリーン
G. オイルフィルター
H. セルモータ
I . キャブレター
J. 燃料フィルター（オプション）
K. 燃料ポンプ（オプション）
L. クイックオイルドレン（オプション）
M. オイルクーラ（オプション）
N. 電子コントロールユニット（オプション

推奨エンジンオイル

ブリッグス&ストラットン エンジンの保証認定されたベストパフォーマンスのオイルを使用することを薦めます。良質で清浄性を有するオイルでサービス等級 SF、SG、SH、SJ またはそれ以上の高品質のオイルを使用してください。
市販の添加物は使用しないでください。
エンジン始動時の外気温に合わせて正しい粘度のオイルを選定してください。
次表を参照して外気温に合わせてオイルを選択してください。



* 外気温 4℃以下で SAE30 のオイルを使用すると始動不良となります。

** 外気温 27℃以上で 10W-30 を使用した場合、オイル消費が多くなります。オイル量点検はこまめに行ってください。

オイルの点検と補充—図 4 参照

1. トラクターを平らな場所に止めます。
2. エンジンを停止してエンジンキーを引き抜きます。
3. オイル注入口（C）付近の汚れをふき取ってください。
4. オイルゲージ（A）を外しきれいな布でふいてください。（図 4）
5. オイルゲージを完全に差し込みます。
6. 再度オイルゲージを引き抜き、オイルレベルを確認します。オイルは「FULL」（B）の位置にあることを確認してください。
7. 「FULL」となっていればオイルゲージを差し込み、ねじ込んでください。
   不足している場合はオイル注入口（C）からオイルを補充してください。（*推奨エンジンオイル*の項参照）
   オイルは入れ過ぎないでください。
   オイル補充後は 1 分ほど待ってからオイルレベルを再確認してください。

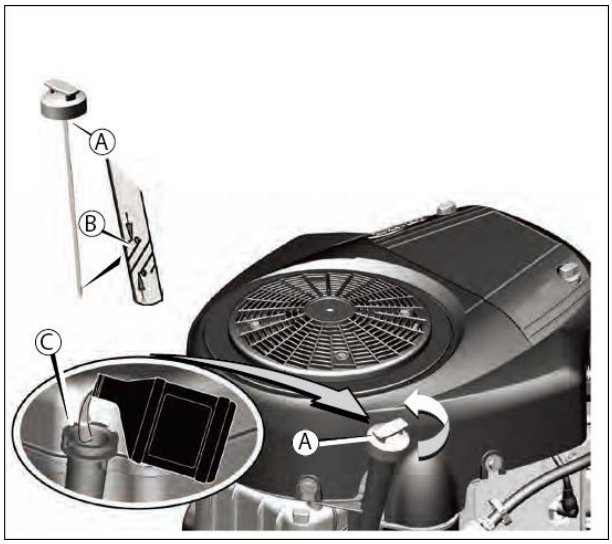


図 4　オイルの点検と補充

オイルプレッシャー

オイルプレッシャーが低い場合、プレッシャースイッチ（オプション）が作動してエンジンを停止するか、警告装置を作動させます。このような場合エンジンを停止してオイルレベルを確認してください。

オイルレベルが「ADD」マークの下であれば「FULL」まで、オイルを補充してください。エンジンを始動して作業前に、適当なオイルプレッシャーであるかを確認してください。

オイルレベルが「ADD」と「FULL」マークの間にある場合、エンジンを始動しないでください。お買い求めの販売店にご相談ください。

推奨燃料

注意:

E15 および E85 のような未承認の燃料は使用しないでください。ガソリンにオイルを混ぜないでください。キャブレターを改造等して代替燃料を使用しないでください。これらを使用してエンジンが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

燃料システムにガム形成物を発生させないために純正のガソリン劣化防止剤がありますのでブリッグス&ストラットンのディーラーからお求めください。全ての燃料は同一のものではありません。始動性や出力不足のトラブルが発生した場合、燃料の供給元もしくはブランドを変更してください。

（保管参照）

常に以下の性能を持つガソリンを使用してください。

- 清浄で、新鮮なレギュラー無鉛ガソリン
- 87 オクタン以上/87 AKI（91 RON）高高度で運転する際には下記のガソリン
- ガソリンに 10%以下のエタノール（ガスホール）含有の燃料は容認できます。

高高度

海抜１５００m 以上でエンジンを運転する場合、ガソリンは 85 オクタン以上/85AKI(89RON) であれば運転できます。高高度にあわせた調整が必要です。キャブレターのメインジェットを高高度用に交換する必要があります。詳しくは作業機をご購入された販売店にお問い合わせください。尚、海抜 762 m 以下で高高度用ジェットを取り付けたままで運転することはおやめください。

燃料の補給

警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

燃料補給時

- エンジンを停止し、燃料タンクキャップを外す前に少なくとも３分間冷却させてください。
- 燃料タンクは屋外か換気のよいところで補給してください。
- 燃料タンクに規定以上の燃料を入れないでください。燃料の膨張に備えて、タンクの口元から約 38mm 程下がった位置までの給油としてください。
- ガソリンをスパークや炎、パイロットランプ、熱やその他の着火源から離してください。
- 燃料ホース、タンク、キャップに、クラックや漏れが無いかを確認してください。必要であれば新品と交換してください。
- 燃料をこぼした場合、エンジン始動前にガソリン蒸気が完全に無くなっていることを確認してください。

1.燃料タンクキャップの周辺をふき取り、タンクキャップを外します。 （A）図５

2.燃料タンクにガソリンを注入します。燃料の膨張に備えてタンクの首の底部（B）より上まで入れないでください。

3.燃料キャップを取り付けてください。

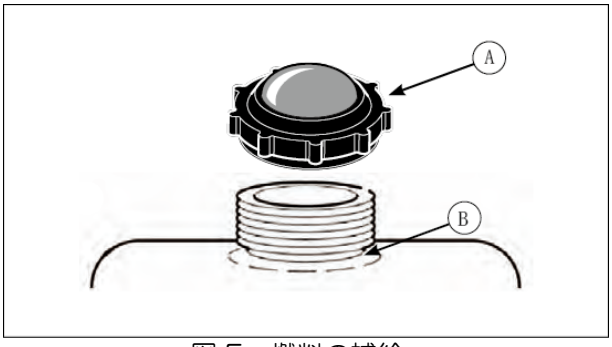


図５　燃料の補給

エンジンの始動

警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。

火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

エンジン始動時に

- スパーク・プラグ、マフラー、燃料タンクキャップやエアクリーナーが所定の位置に収まっているか確認してください。
- スパーク・プラグを外したままでクランクしないでください。
- エンジンからガソリンを吸い込み過ぎて点火しない場合、スロットル/チョークコントロールを「FAST」の位置にしてエンジンが始動するまでクランクしてください。

警告

エンジンは、無色・無臭な毒ガスである一酸化炭素を排出します。
一酸化炭素を吸入すると吐き気や失神を起こしたり、死亡する場合もあります。

- エンジンの始動と運転は屋外で行ってください。
- 有毒な一酸化炭素ガスがたまる可能性のある閉め切った場所では、エンジンを作動しないでください。

1. オイルレベルを点検します。（*オイルの点検と補充*の項参照）
2. シートに座りシート調整レバーを上げて、要望通りのシート位置に合わせレバーを離してください。
3. ブレーキペダルを完全に踏みこみ、駐車ブレーキノブを上に引き上げます。その後ペダルから足を離します。
4. PTO スイッチを押して接続を外します。
5. スロットル/チョークコントロールを動かし「チョーク」の位置にします。
6. エンジンキーを差し込み、時計方向に回して「ＳＴＡＲＴ」の位置にし、エンジンが始動したらエンジンキーを「ON」の位置へゆっくりと戻してください。
7. エンジン始動後はスロットル/チョークコントロールを中間位置にします。エンジンの暖機のために少なくとも 30 秒以上運転してください。

注意：

緊急の場合には、トラクターのエンジンは、エンジンキーを「STOP」に回すことにより停止してください。この方法は緊急時のときのみ使用してください。通常の停止方法は *トラクターとエンジンの停止*の項参照

8. スロットル/チョークコントロールを「FAST」の位置にします。

トラクターの操作

1. 充分によくコントロールすることができるように、またダッシュボードがよく見ることができるように、座席に座って座席を調整します。
2. 駐車ブレーキをかけ、ブレーキペダルから足を外します。（*駐車ブレーキの作動*の項参照）
3. PTO スイッチを押して「OFF」になっていることを確認します。
4. エンジンを始動します。（*エンジンの始動*の項参照）
5. 駐車ブレーキを解除し、ブレーキペダルから足を離します。
6. 前進スピードペダルを踏み込んで前進します。止まるにはペダルから足を離してください。ペダルを強く踏み込めば走行スピードは速くなります。
7. スピードペダルを離してトラクターを停止させ駐車ブレーキをかけエンジンを停止させます。*トラクターおよびエンジンの停止方法*の項参照

芝刈り操作

1. リフトコントロールレバーでモアデッキをフリーの位置にし、刈高を刈り込もうとする高さに、刈高調整ハンドルで調整します。
2. エンジンを始動します。（*エンジンの始動*の項参照）
3. スロットル/チョークレバーを「FAST」の位置にし、エンジンスロットルをフル回転にします。
4. PTO スイッチを引き上げ、ナイフを回転させます。
5. 駐車ブレーキを解除して芝刈りを始めます。
6. 芝刈り作業が終了したら、PTO スイッチを「OFF」にし、リフトコントロールレバーでモアデッキを移動時の位置にします。
7. エンジンを停止します。（*トラクターとエンジンの停止*の項参照）

後進しながらの芝刈り

警告

PTO スイッチが「ON」の状態で、かつ RMO スイッチが機能していない場合に後進するとエンジンは停止します。芝刈り作業をしないときは、PTO スイッチを「OFF」にして走行してください。

警告

芝刈りしながら後進することは、周囲の人にとって危険がおよぶ可能性があります。特に子供の存在には、作業者が細心の注意を払わないと、重大な事故が起こる可能性があります。子供が近くにいる場合、RMO スイッチを機能させて、芝刈り作業を行なわないでください。子供は、しばしば機械や芝刈り作業場に寄ってくる傾向があります。

RMO™（Reverse Mow Option）を使用すれば、後進しながら芝刈り作業を行なえます。PTO スイッチを「ON」にしてから、RMO キーを回します。LED ランプが点灯したら、後進しながら芝刈り作業が行なえます。RMO は、PTO スイッチが「OFF」になると機能しなくなります。RMO キーは、必要時以外は、外しておくことを推奨します。

手で芝刈機を押す方法

警告

トラクターを牽引しないでください。トラクターを牽引することは、トランスミッションに損傷を与えます。

- このトラクターを押すか、引くために別の車両を使わないでください。
- エンジン運転中に、トランスミッション解除レバーを作動させないでください。

1. PTO スイッチを「OFF」にし、エンジンを停止します。
2. トランスミッション解除レバー（図 6 の B）をトラクター後方へ引きます。
3. 駐車ブレーキを解除します。
4. トラクターは手で押せます。

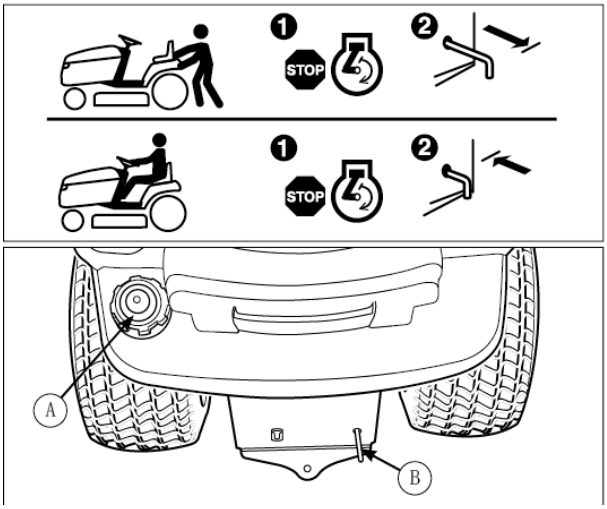


図 6　トランスミッション解除レバー

モアデッキの刈高調整

モアリフトコントロールレバー（図 7 の A）を上下させて、モアデッキを刈取位置や移動位置にします。

モアリフトコントロールレバーをわずかに引き、それを左の方に押してモアデッキを下げてください。移動時にモアデッキを上げるためには、モアリフトコントロールレバーを引き上げ、右のノッチに固定してください。移動時の位置では芝刈りはしないでください。

刈高調整ハンドル（B）は、刈高を調整します。 刈高を上げるには時計回りに、刈高を下げるには反時計回りにハンドルを回してください。

刈高は 20～１０２mm の範囲で調整できます。

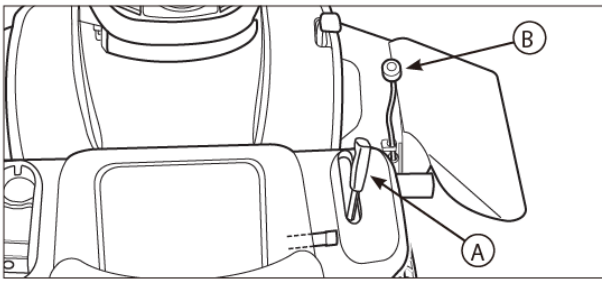


図７　モアデッキの刈高調整

芝刈機の操作方法

駐車ブレーキの作動

駐車ブレーキをかける－図８参照

駐車ブレーキをロックするために、スピードペダル（A）を離してください。完全にブレーキペダル（B）を踏み込んでください。駐車ブレーキノブ（C）を上に引いてください。ブレーキペダルを離してください。

駐車ブレーキを解除する－図８参照

駐車ブレーキを解除するためには、ブレーキペダル（B）を完全に踏みこんで、駐車ブレーキノブ（C）を下に押してください。

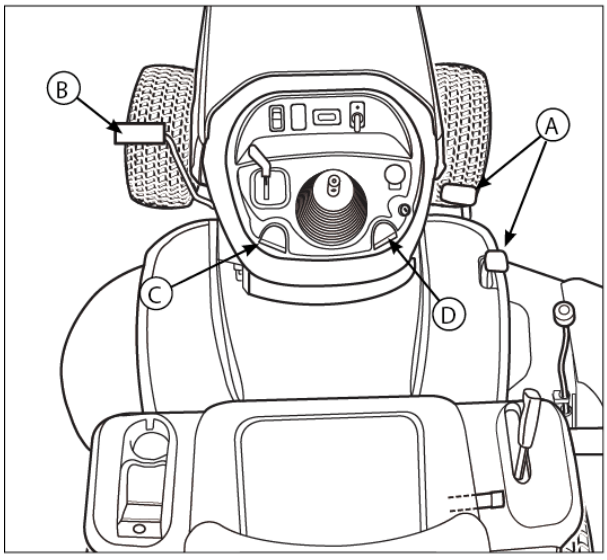


図８　駐車ブレーキとクルーズコントロール

クルーズコントロール

「ON」にする－図８参照

1．スピードペダル（A）を前進方向に踏み込みます。

2．希望するスピードとなったら、クルーズコントロールノブ（D）を引き上げます。クルーズコントロールは５段階の位置から選べます。

「OFF」にする－図８参照

1．ブレーキペダル（B）を踏み込む。または

2．スピードペダル（A）を前進方向に踏み込む。

トラクターおよびエンジンの停止方法

警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。

火災または爆発により、ヤケドや死亡事故が起こる可能性があります。

チョークを閉じてエンジンを停止させないでください。

注意：

緊急の場合には、トラクターのエンジンは、エンジンキーを「OFF」に回すことにより停止してください。この方法は緊急時のときのみ使用してください。通常の停止方法は *トラクターとエンジンの停止*の項参照

1. スピードペダルから足を離し、ニュートラルに戻します。
2. PTO スイッチを押し、ナイフの回転が完全に停止するまで待ちます。
3. スロットル/チョークレバーを「SLOW」の位置にします。
4. エンジンキーを「OFF」に回し、エンジンを停止します。
5. エンジンキーを引き抜き、駐車ブレーキをかけ、子供の手の届かない場所に保管します。

メンテナンス

メンテナンスチャート

トラクターおよびモアデッキ
運転 初回１０ 時間
グリースの点検およびグリース給油 1.モアデッキ上スピンドル　×各スピンドル３か所 2.フロントアクスルキングピン　×左右キングピン２か所 3.フロントアクスルピボット　×１か所
運転 ８ 時間毎もしくは毎日
セーフティインターロックシステムの点検
トラクターやモアデッキに付着したゴミの除去
エンジンに付着したゴミの除去
運転 ２５ 時間毎もしくは年１回*
ナイフの停止までの時間の点検
トラクターとモアのネジの緩みの点検
タイヤ空気圧の点検
運転 ５０ 時間毎もしくは年１回*
グリースの点検およびグリース給油 1.モアデッキ上スピンドル　×各スピンドル３か所 2.フロントアクスルキングピン　×左右キングピン２か所 3.フロントアクスルピボット　×１か所
トラクターブレーキの点検
バッテリーおよびケーブルの清掃
年１回（販売店で実施）
トラクターおよびモア部の潤滑油注入
ナイフの点検**

＊　いずれか早い時期に行ってください。

** ナイフに砂や土などが付着したり埃がひどい状況下ではより頻繁に点検してください。

エンジン
運転 ５ 時間
エンジンオイルの交換
運転 ８ 時間毎もしくは毎日
エンジンオイルレベルの点検
運転 ２５ 時間毎もしくは年１回*
エンジンのエアフィルターおよびプレクリーナーの清掃**
運転 ５０ 時間毎もしくは年１回*
エンジンオイルの交換
オイルフィルターの交換
年１回
エアフィルターの交換
プレクリーナーの交換
年１回（販売店で実施）
マフラーとスパークアレスターの点検
スパーク・プラグの交換
燃料フィルターの交換
エンジンのエア冷却システムの清掃

＊　いずれか早い時期に行ってください。

** 埃がひどい状況下ではより頻繁に清掃してください。

トラクターのメンテナンス

警告

不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。

不測の始動は、絡みあい、外傷性切断や裂傷の原因となります。

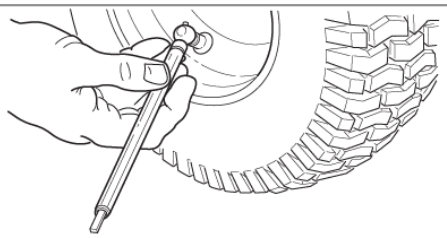
調整や修理を行う前には次のことを行ってください。

- スパーク・プラグの配線を外して、スパーク・プラグから離しておいてください。
- バッテリーのマイナス端子側を外してください（電動スタートのエンジンのみ）。
- 的確な器具のみ使用してください。
- ガバナースプリング、リンク、その他の部品に手を加えてエンジンの速度を上げないでください。
- 交換部品は、純正部品を使用し、また同位置に取り付けられなければなりません。純正部品以外は、機械に損傷を与え、結果としてケガをさせるかも知れません。
- 運転中に砕け散る可能性があるので、フライホイールを金づちや固い物体で叩かないでください。

タイヤ空気圧の確認

タイヤは最適な牽引力を得ることと、ブロックパターンが確保するために、定期的にチェックされなければなりません。（図９参照）

*下記表の圧力はタイヤに表示されている 「Max Inflation（最大の空気圧）」とわずかに異なるかもしれません。



タイヤサイズ	kPa	kgf/c ㎡
15×6.0-6	82.5-96.2	0.8-1.0
22×10.00-8	68.7	0.7

図９　タイヤの空気圧の確認

ナイフの停止時間

警告

PTO スイッチを「OFF」にした後、ナイフとモア駆動ベルトが 5 秒以内に完全に止まらない場合、調整が必要です。販売店による調整が完了するまで、この芝刈機を使用しないでください。

1. エンジンを始動します。（*エンジンの始動*の項参照）
2. 左フットレスト側のモア駆動ベルトを見てください。 PTO をつなぎ数秒待ってください。 PTO を切ってモア駆動ベルトが止まるまでの時間をチェックしてください。
3. モア駆動ベルトが５秒以内に止まらないならば、販売店に相談してください。

シートの調整

シートのスライド調整

シートは前後方向に調整できます。レバー（図 10 の A）を動かし任意の位置に調整します。

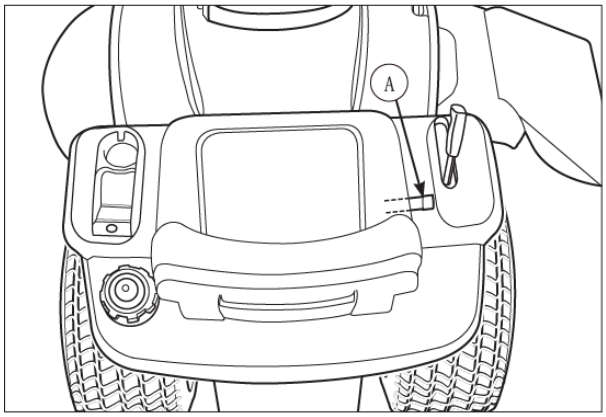


図 10　シートの調整

座席ばねの調整

座席を前方に傾けて、柔らかい乗り心地を得たい場合は、バネ・アセンブリを前方にスライドさせ、固い乗り心地を得たい場合は、後方にスライドさせます。

モアデッキの清掃

モアデッキの左側にある洗浄ポートに、一般的な園芸ホースを接続して洗浄することにより、モアデッキ内側に堆積した草や破片を除去できます。これによりモアデッキが安全に使用できます。

警告

モアデッキ内のナイフを回す前に、ホースがきちんと繋がれて、刃と接触しないことを確認してください。モアデッキが駆動していたり、ナイフが回転しているときは、モアデッキを洗浄している人はオペレーターの位置にいなければなりません、さらに周囲に人がいないことを確認してください。確認不十分な場合は体にケガや重度の裂傷等の重傷または死に至る可能性もあります。

1. トラクターは水平の位置に停車してください。
2. ワンタッチコネクタ（図 11 の A）を水道ホース（B） に取り付け、モアデッキにある洗浄ポート（ C ）に接続します。
3. モアデッキ内の草やゴミを除去するために水を出します。
4. モアデッキの刈高位置を最上段にし、ナイフを回転させると、モアデッキ内の洗浄がされます。
5. ナイフの回転を止めます。
6. ホースとワンタッチコネクタを洗浄ポートから外します。

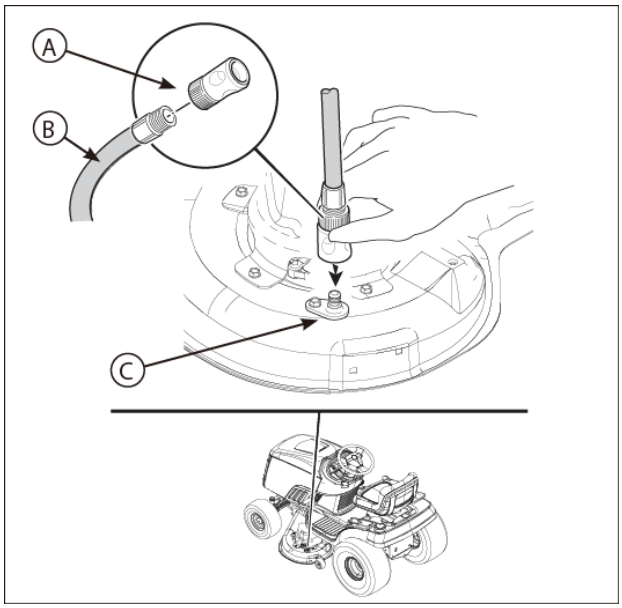


図 11　モアデッキの清掃

バッテリーのメンテナンス

警告

バッテリーケーブルを取り外すときはマイナスケーブルを先に、また取り付けるときは後から行ってください。この順序で行わないならば、プラス端子は工具でフレームにショートすることになります。

警告

バッテリーポストやターミナルおよび接続しているアクセサリーには鉛と鉛化合物を含みます。ーガン、先天性欠損症または他の生殖有害事象を引き起こすことはカリフォルニア州で知られています。取り扱いの後は必ず手を洗ってください。

バッテリーとケーブルの清掃

1. バッテリーからマイナスケーブルをまず先に外し（図 12)、次にプラス側のカバーとケーブルを外します。

2.ナットとワッシャー（A）を外します。

3. バッテリー固定金具（B）を持ち上げ外します。

4. バッテリーを外します。

5. 重曹と水の溶液で、バッテリー端子をきれいにしてください。

6. ワイヤーブラシとバッテリー端子クリーナーでバッテリー端子とケーブル端子をきれいにしてください。

7. バッテリーを置き、固定金具とナットとワッシャーを取り付けます。

8. プラス側のバッテリーケーブルを先に取り付けカバーをしてからマイナス側ケーブルを取り付けます。

9. 組み立てられたターミナルにワセリンまたはグリースを塗布してください。

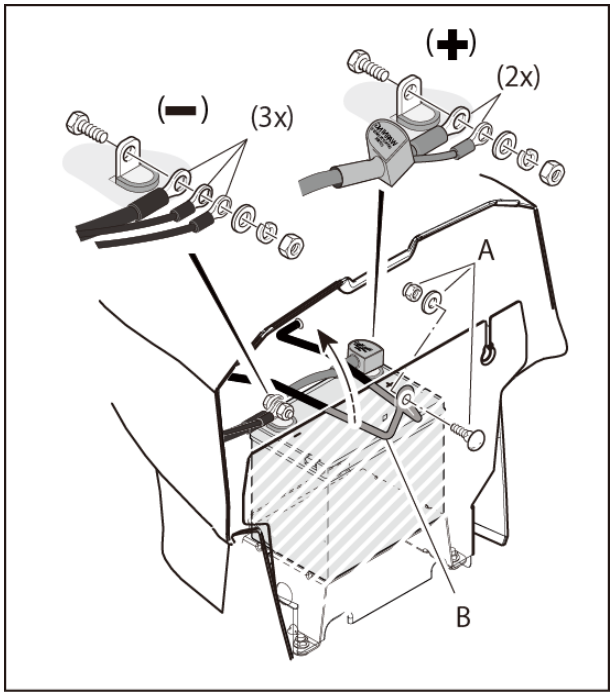


図 12　バッテリーとケーブルの清掃

バッテリーの充電

警告

裸火や火花はバッテリーから遠ざけてください。

これらからのガスは非常に爆発的です。充電中はバッテリー周辺の換気をしてください。

エンジンを始動できないのは、使用できないバッテリーまたは弱い劣化したバッテリーまたは、充電システムまたは他の電気関係の不具合であるかもしれません。問題の原因に対する疑いがある場合はお買い求めの販売店に相談してください。

バッテリーを交換する必要ある場合は*バッテリーとケーブルの清掃*の項を参照してください。

バッテリーを充電するために、このマニュアルの安全に関するセクションに含まれるすべての警告だけでなく充電器メーカーにより提供される指示に従ってください。

完全充電されるまで、バッテリーを充電してください。10 アンペアを超える容量で充電しないでください。

エンジンのメンテナンス

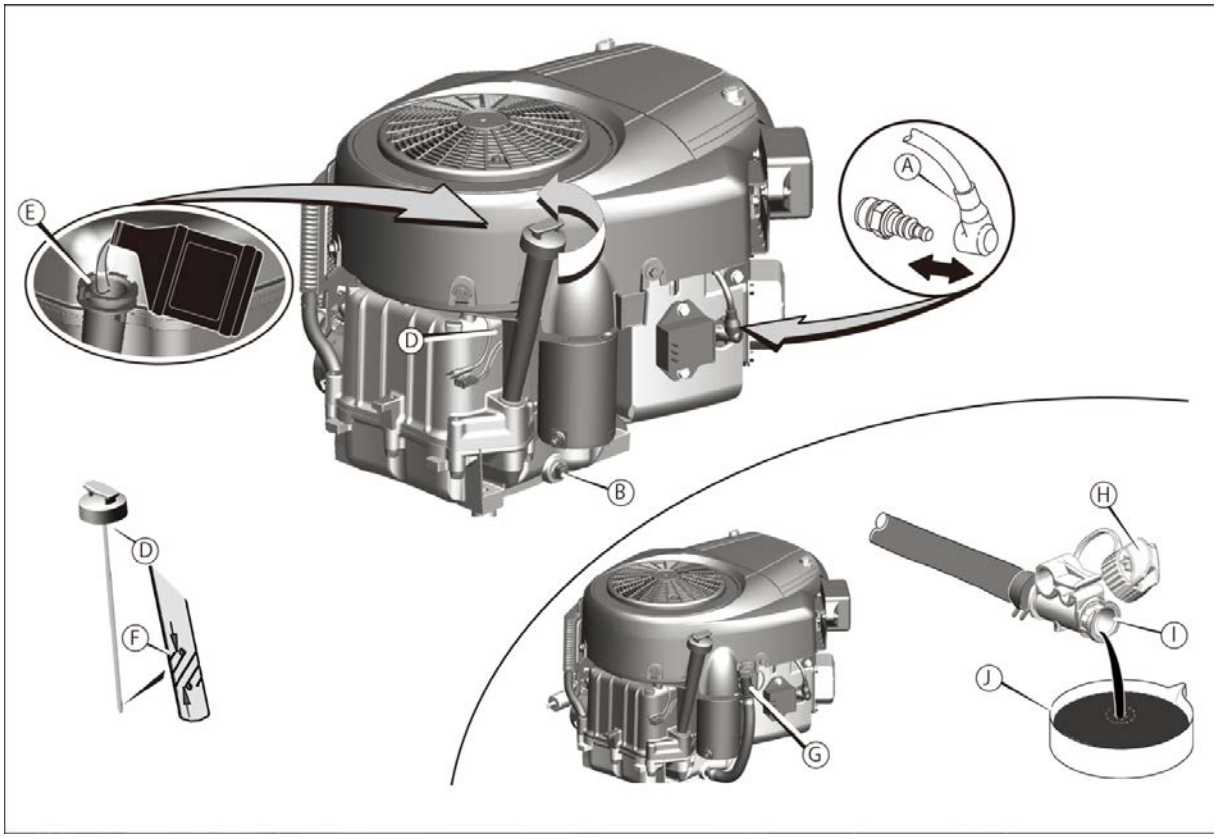


図 13　エンジンのメンテナンス

警告

燃料およびその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。火災または爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となる可能性があります。

オイルを交換するとき
上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

エンジンオイルの交換

使い古した油は危険な廃棄物で、正しく処分されなければなりません。家庭ごみで廃棄しないでください。

安全なリサイクルのためにお住いの地方自治体に確かめてください。

エンジンオイルの抜き取り

1. エンジンがまだ温まっている間に、スパーク・プラグワイヤー（図 13 の A）を引き抜き、スパーク・プラグから遠避けます。
2. オイルゲージ（D）を外します。

標準のオイルドレンプラグ

1. オイルドレンプラグ（B）を外してオイル受け容器に抜き取ります。
2. オイルが抜き終えたらドレンプラグを取り付けます。

クイックオイルドレン（オプション）

1. オイルドレンホース（G）をエンジンの横から外します。

2. オイルドレンキャップ（H）を回して外し、クイックオイルドレン（ I ）をゆっくりと下ろしてオイル受け容器にオイルを抜きます。

3. オイルが抜き終えたらオイルドレンキャップを取り付け、ドレンホースをエンジンに固定します。

エンジンオイルの給油

- トラクターを平らな場所に置きます。
- オイル注入口周辺の汚れやゴミを取り除きます。
- *仕様諸元*の項でオイル容量を確認してください。

1. オイルゲージ（図 13 の D）を外してきれいな布でふき取ります。
2. 新しいエンジンオイルをゆっくりと入れます（E）。**入れ過ぎない**でください。オイル注入後１分ほど待ってからオイルレベルを確認します。
3. オイルゲージを完全に差し込みます。
4. オイルゲージを抜いてレベルを確認します。ゲージの「FULL」マーク（F）まで入っていることが必要です。
5. ゲージを再度取り付け締めます。

オイルフィルターの交換

警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。
火災または爆発により、火傷や死亡事故が起こる可能性があります

オイルを交換するとき
上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

交換の時期は*メンテナンスチャート*を参照してください。

1. エンジンオイルを抜き取ります。（*エンジンオイル交換*の項参照）
2. オイルフィルター（図 14 の C）を外して廃棄します。
3. オイルフィルターを取り付ける前にオイルフィルターのガスケットにきれいなオイルを軽く塗布します。
4. オイルフィルターをアダプタに手で締めこみます。さらにオイルフィルターを 1/2 から 3/4 回転締めこみます。
5. オイルを給油します。（*エンジンオイルの給油*の項参照）
6. エンジンを始動して暖機運転をしてオイルが漏れていないか確認します。
7. エンジンを停止し、オイルレベルを再確認して、不足していたら追加補充してください。

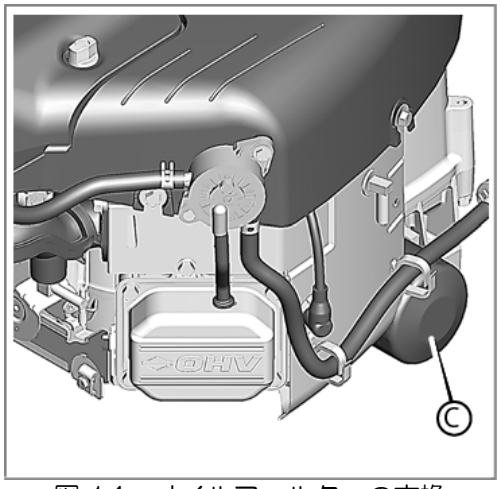


図 14　オイルフィルターの交換

エアフィルターのメンテナンス

警告

ガソリンとその蒸気はきわめて可燃性が高く、爆発性があります。
火災または爆発により、火傷や死亡事故が起こる可能性があります。

エアクリーナーAssy もしくはエアフィルターを外した状態ではエンジンは絶対に始動しないでください。

注意

フィルターに圧縮空気をかけたり、化学洗剤等で洗わないでください。いずれもエアフィルターに損傷を与えることになります。

1. カバー（図 15 の A）を外します。
2. フィルター（B）の縁を上に持ち上げ外します。
3. プレクリーナー（C）を外します。
4. 外したカートリッジは平らな固い表面で軽くたたいてゴミを取り除きます。汚れが著しい場合は新しい部品と交換してください。
5. プレクリーナーは石鹸水で洗い、乾燥させます。プレクリーナーにはオイルを含ませないでください。
6. プレクリーナーをカートリッジにかぶせます。
7. 組み立てたフィルターをベース（D）に置き、きちんと収まるよう押し込みます。
8. カバーを取り付けます。

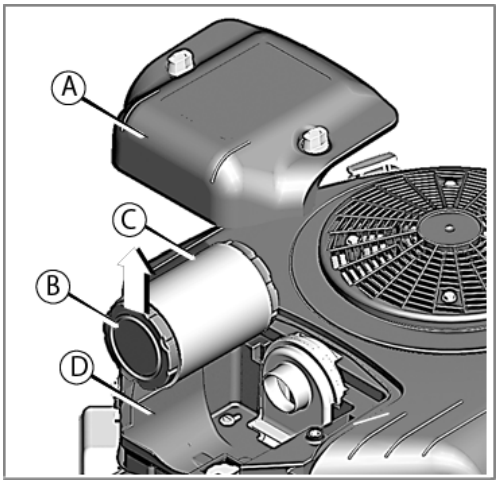


図 15　エアフィルターのメンテナンス

マフラーのメンテナンス

警告

動いているエンジンは発熱します。エンジン部品、特にマフラーは非常に熱くなります。接触により、重篤な火傷をもたらす場合があります。落ち葉、草、枝等の可燃のゴミに火が付く場合があります。

- マフラー、エンジン・シリンダー、フィンは冷ましてから触れてください。
- エンジンやエンジンの周囲から、ごみを除いてください。

警告

交換部品は、元の部品と同じ位置にする必要があります。さもないと火災が起こり得ます。

マフラーを整備するには、認定ディーラーに依頼してください。

スパーク・プラグのメンテナンス

警告

不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。不測の始動は、絡みあい、外傷性切断や裂傷の原因となります。

スパークのテストを行う場合

- 認定されたスパーク・プラグ・テスターを使用してください。
- スパーク・プラグを取り外した状態では、スパークの点検はしないでください。

注意：
スパーク・プラグには様々な熱領域があります。
正しいスパーク･プラグを使用することが重要です。
さもないと、エンジンの損傷が起こり得ます。

スパーク・プラグの清掃

ワイヤーブラシおよび頑丈なナイフで清掃します。
研磨剤を使用しないでください。

保管

警告

燃料が入ったままのトラクターを換気の悪い場所に保管しないでください。揮発して蒸気が火花等に触れると爆発することがあります。またこの蒸気は人や動物にとっても有害なものです。

燃料もしくはトラクターのタンクに保管する場合

- 燃料や燃料が入ったままでのトラクターの保管時にはストーブや瞬間湯沸器等の裸火や火花が蒸発したガソリンに引火することがありますので、これらに近づけないでください。

芝刈機

PTO を「OFF」にしナイフを止め、駐車ブレーキをかけて、エンジンキーを抜き取ってください。

バッテリーは涼しく乾いた場所に保管してください。また月に一度は完全に充電をしてください。バッテリーがトラクターに搭載されたままであれば、マイナスケーブルを外してください。

燃料システム

燃料は 30 日以上保管すると劣化する恐れがあります。劣化した燃料は燃料システムや重要なキャブレター部分に粘性物質が形成します。
これを防ぐためにタンク内の燃料に燃料劣化防止剤を添加してください。エンジンを 2 分ほど運転し、燃料劣化防止剤がキャブレターに循環するようにしてください。
これによって、エンジンおよび燃料は最大 36 ヶ月間保管できます。燃料劣化防止剤を使用しない場合、保管時にはタンクやキャブレター等の燃料システムからガソリンを完全に抜いてください。

エンジンオイル

次のシーズンにすぐ使用できるように、あらかじめオイルを交換してください。

保管されていた後で、始動前に行うこと

- すべてのオイルレベルをチェックしてください。すべてのメンテナンス・アイテムをチェックしてください。
- この取扱説明書で示される点検とその手順を推薦されるすべてを実行してください。
- エンジン使用の前に数分間暖気してください。

トラブルシューティング

トラクター

トラブル内容	原因	対処方法
エンジンが回転しない/始動しない	ブレーキペダルが踏み込まれていない	ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。
	PTO スイッチが「ON」になっている	PTO スイッチを「OFF」にしてください。
	クルーズコントロールがニュートラルになっていない	レバーをニュートラルにしてください。
	燃料切れ	エンジンが冷えてから、給油してください。
	ヒューズが切れている	販売店へご相談ください。
	バッテリーターミナルが汚れている	***バッテリーとケーブルの清掃***の項を参照して掃除します。
	バッテリーの容量不足か不良	充電するか交換します。
	ワイヤー類が外れているか、不良	配線を確認して、もしショートしていたり損傷していたら、販売店にご相談ください。
	ソレノイドかスターターモーターの不良	販売店へご相談ください。
	セーフティーインターロックの故障	販売店へご相談ください。
	スパーク・プラグの不良、不適切なギャップ	販売店へご相談ください。
	燃料に水が混ざっている	販売店へご相談ください。
	燃料が古い	販売店へご相談ください。
エンジンの始動が困難/回転不足	混合気が濃厚すぎる	エアクリーナーを掃除します。
	エンジンの他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンがノックする	エンジンオイル不足	エンジンオイル量を確認し、必要に応じて加えます。
	エンジンオイルのグレードが違う	***推奨エンジンオイル***の項を参照
過度のオイル消費	エンジンオーバーヒート	販売店へご相談ください。
	エンジンオイルのグレードが違う	***推奨エンジンオイル***の項を参照
	エンジンオイルの入れ過ぎ	ドレンからオイルを抜いてください。

黒煙が出る	エアクリーナーが汚れている	エアクリーナーを掃除してください。
エンジンは始動するがトラクターが動かない	スピードコントロールペダルを踏んでいない	ペダルを踏みます。
	トランスミッション解除レバーが「手押し」の位置にある	レバーを押し込みます。
	ブレーキが十分に解除されていない	販売店へご相談ください。
	ドライブベルトがスリップしている	販売店へご相談ください。
ブレーキが効かない	ブレーキ内部の故障	販売店へご相談ください。
ハンドルの動きが硬い、ゆるい	ハンドルのリンケージがゆるい	販売店へご相談ください。
	タイヤ空気圧の不足	***タイヤ空気圧の確認***の項を参照
	フロントホイールスピンドルベアリングの潤滑不足	販売店へご相談ください。

モア部

トラブル内容	原因	対処方法
モアデッキがあがらない	リフトリンケージの取り付けが不十分もしくは曲がっている	販売店へご相談ください。
刈り上がりにムラがある	モアの高さが正しくない。	販売店へご相談ください。
	トラクターのタイヤ空気圧が不足	*タイヤ空気圧の確認*の項を参照。
刈り上がりがラフである	エンジン回転数が低すぎる	エンジンをフルスロットルとしてください。
	走行速度が速すぎる	走行速度を落としてください。
	その他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンが失速してモアが駆動しない	エンジン回転数が低い	エンジンをフルスロットルとしてください。
	走行速度が速すぎる	低速とします。
	エアクリーナーが汚れているか詰まっている	*エアフィルターのメンテナンス*の項を参照
	刈高が低すぎる	草が伸びすぎている場合は、刈高を上げて、何回かに分けて刈り込みます。
	放出シュート内に刈った芝が詰まっている	シュート内の詰まった芝を取り除き、刈り取ったエリアに放出するようにしてください。
	エンジンの運転温度が規定に達していない	充分に暖機運転をしてください。
	背の高い芝のエリアでエンジン始動している	刈り終わった場所でエンジン始動してください。
振動が大きい	モアの他のトラブル	販売店へご相談ください。
エンジンは始動でき、トラクターは動くがナイフが回らない	PTO が動いていない	PTO スイッチを入れます。
	モアの他のトラブル	販売店へご相談ください。

仕様緒元

注意：仕様は予告なく変更されることがあります。

**個々のガソリンエンジンモデルの出力は SAE（Automotive Engineers）コード J1940（Small Engine Power & Torque Rating Procedure）に従ってラベルを貼付しています。出力表示は SAE J1995（改訂 2002-05）に基づいて表示しています。最大トルクは、ラベルに rpm と示されているエンジンでは 2600RPM で、その他のエンジンでは 3060RPM で引き出されます;*

馬力は、3600RPM で引き出されます。実際のエンジン出力は、運転時の周囲の温度等の状況と個々のエンジンによって影響を受けます。エンジンが搭載される作業機の種類と作業機を駆動することに適用できる環境問題のバラエティがあれば、作業機の所定の場所で使われるとき、ガソリンエンジンは総合的な出力を高めません。これは、アクセサリー（エアクリーナー、マフラー、充電、冷却、キャブレター、燃料ポンプ、その他）、アプリケーションとしての限度、周囲の動作状況（温度、湿気、高度）と個々のエンジンの種類等いろいろな要因によります。ブリッグス&ストラットン社は、より高い出力エンジンをこの Series に搭載することもあります。

エンジン

Briggs & Stratton
モデル：INTYEK　7220 シリーズ
　　V-ツイン
出力：22HP/3,600 rpm
排気量：656 cc
電装：12V, 9A 充電装置
　　12V-195 CCA バッテリー
オイル容量：1.9 リットル
エンジンオイル：5W30 合成オイル
スパーク・プラグギャップ：0.76 mm
スパーク・プラグ締付トルク：20Nm
燃料タンク容量：13.2 リットル

車体

シート調整：9 段階
前輪タイヤサイズ：15 X 6.0 -6
　タイヤ空気圧　82.5～96.2kPa
　（0.8～1.0kgf/c ㎡）
後輪タイヤサイズ：22 X 10.0 -8
　タイヤ空気圧　68.7kPa（0.7 kgf/c ㎡）

トランスミッション

メーカー：Turf Torq　K46BL
エンジンオイル：10W30
　　プレミアルエンジンオイル
スピード：前進:0～9 Km/h　@3,400rpm
　　後進: 0～4.6 Km/h　@3,400rpm

モアデッキ

刈巾：116.8 cm
ナイフ数：3 枚
デッキプラットフォーム：横吹き出し
デッキホイール：分割式後ローラー　1 本
刈高：20 ～102mm
刈高調整：無段階

寸法

全長：181.6 cm
全幅：139.0 cm
全高：114.3 cm
乾燥重量：222 kg

サービスパーツ

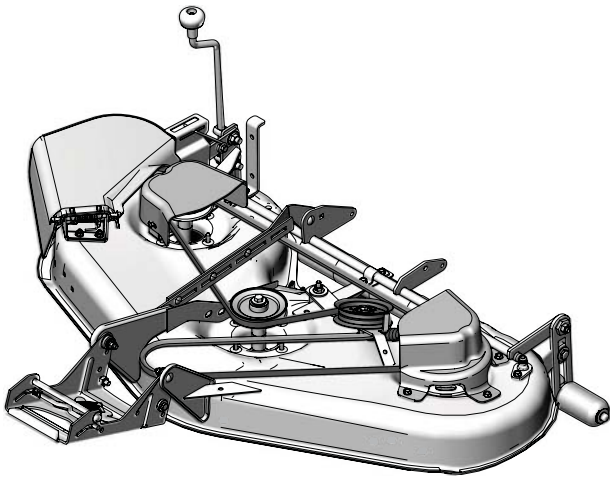
交換部品は、お買い求めの販売店から入手可能です。必ず純正のサービスパーツを使ってください。

アクセサリー

部品表と同様に、多くの便利で役に立つサービスとメンテナンスに必要な機材はお買い求めの販売店で購入出来ます。

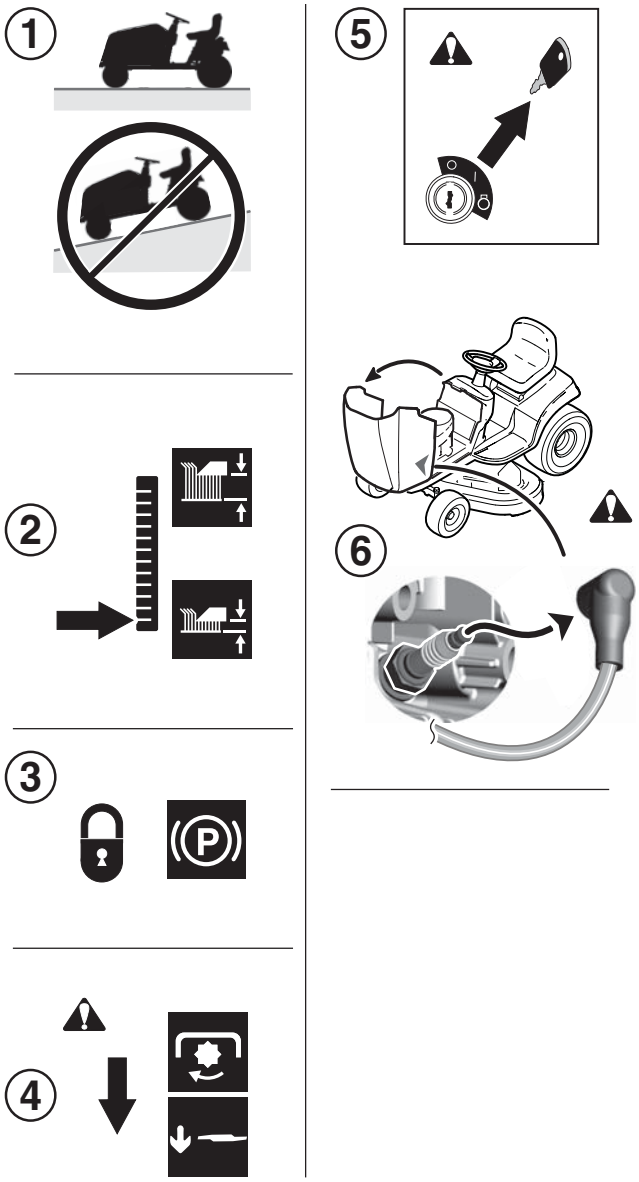
モアデッキマニュアル

イラストで示された手順は2ページ目から開始
対応する説明は7ページ目から開始。

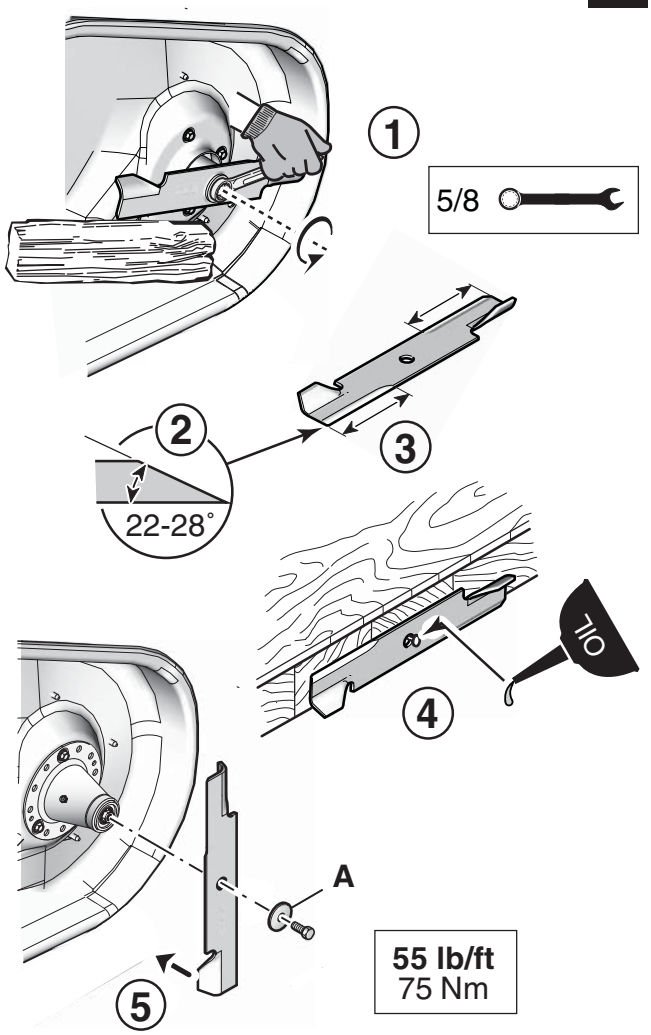


80012601JA
Rev. A

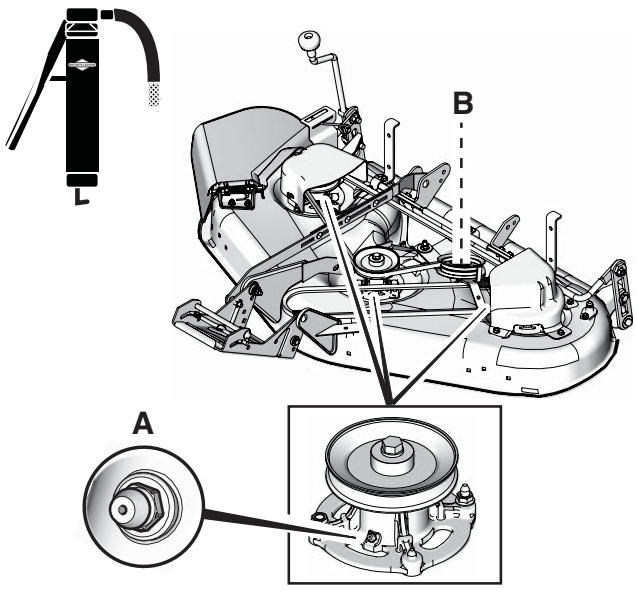
1



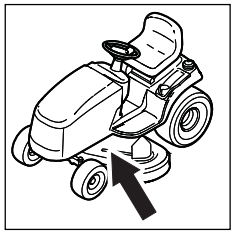
2

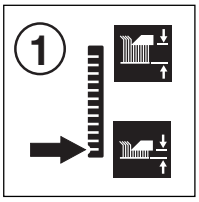


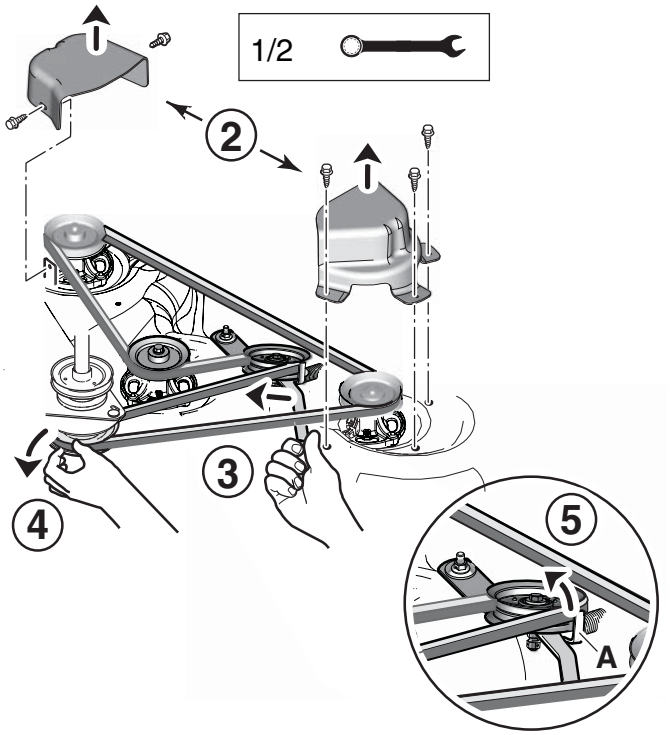
3

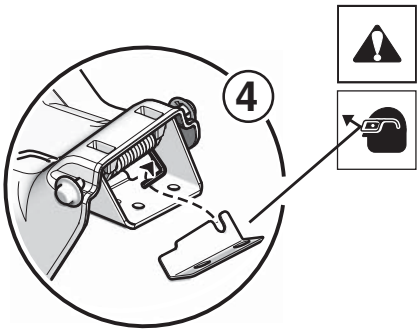


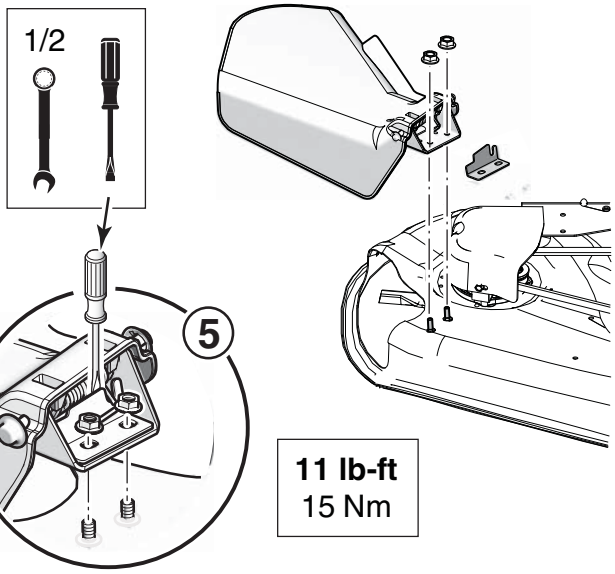
4



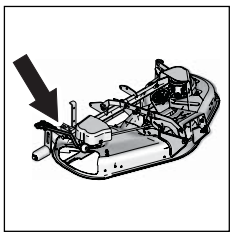




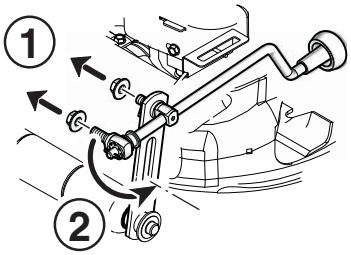


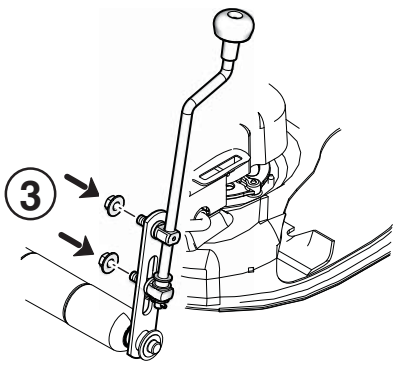


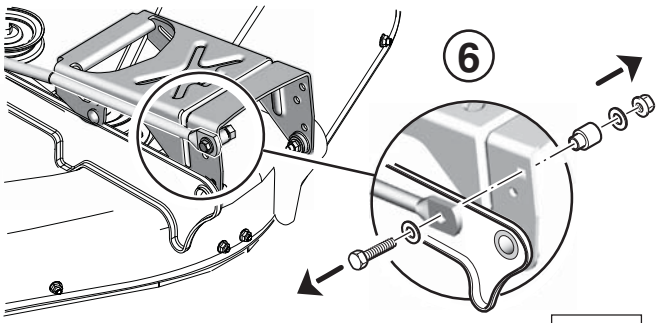
5

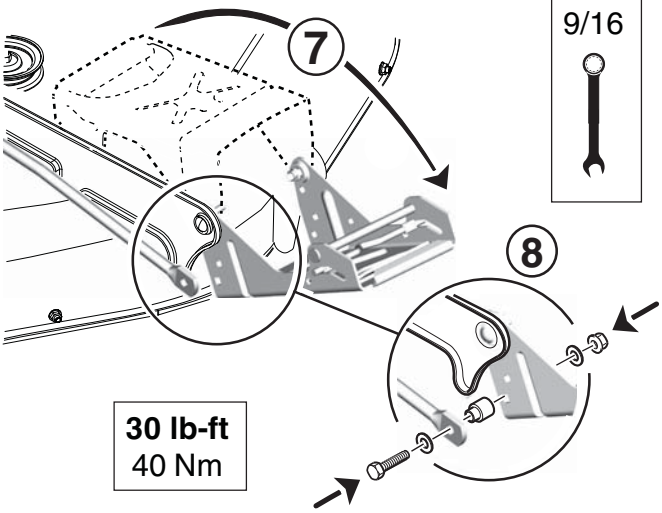


3/4

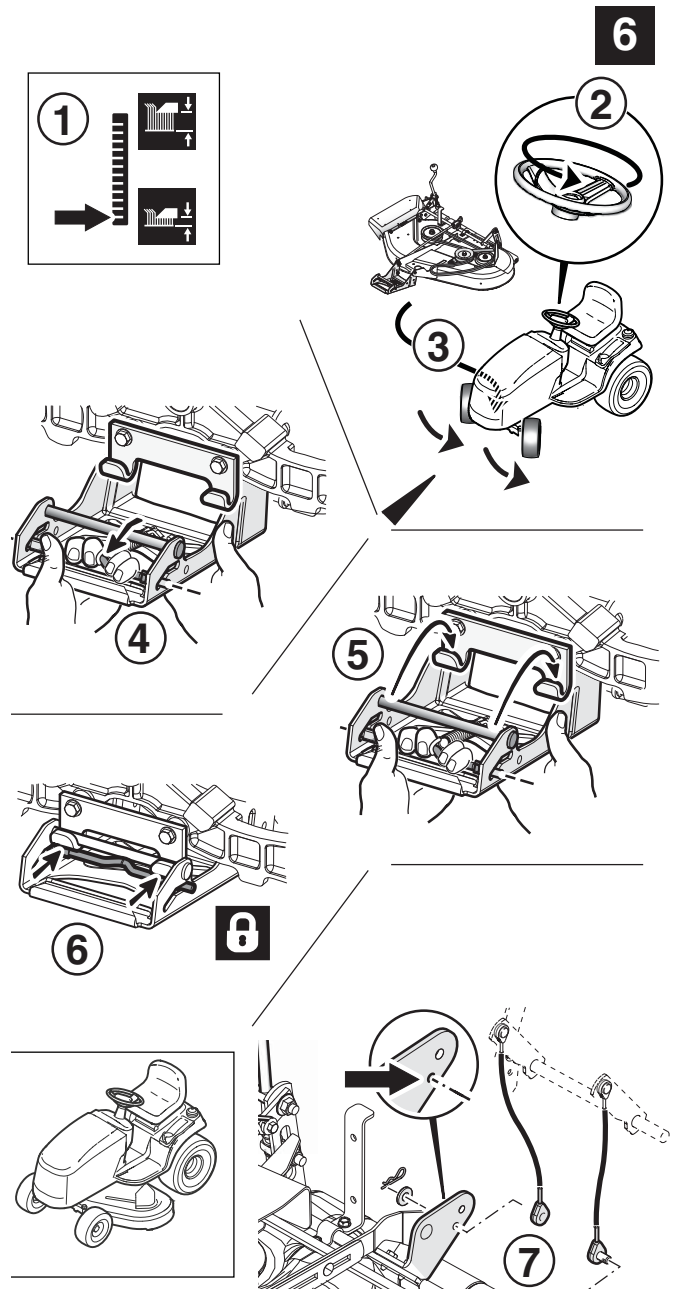


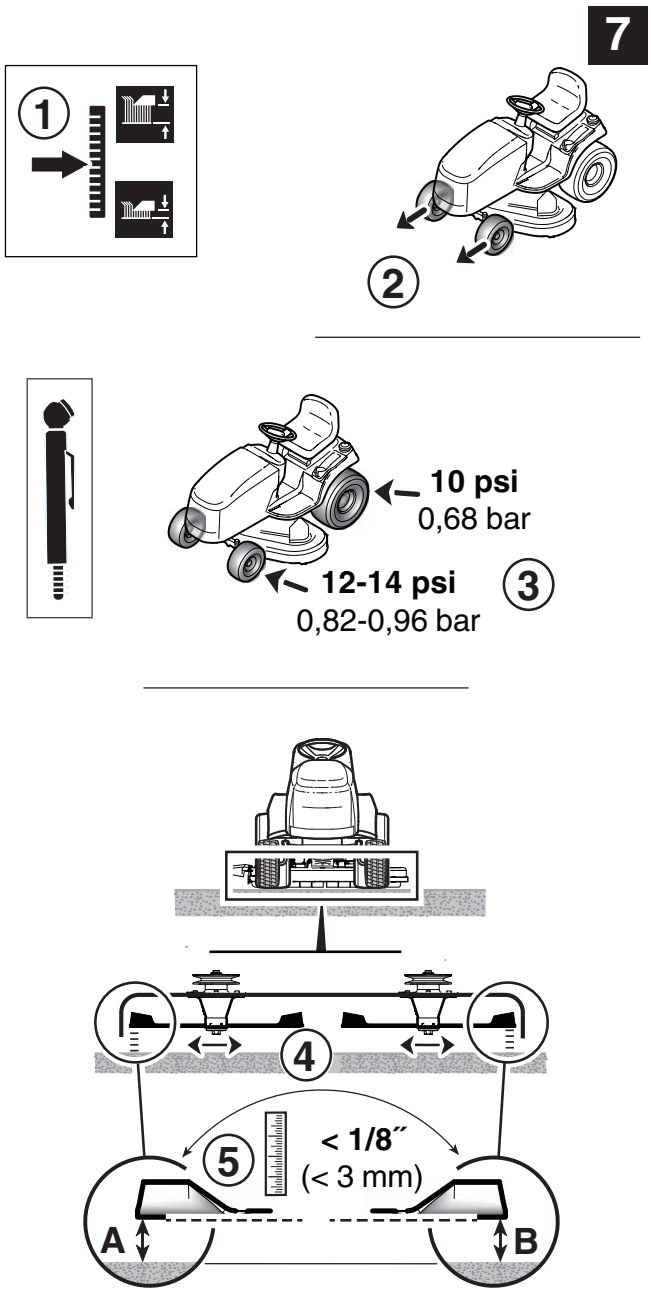


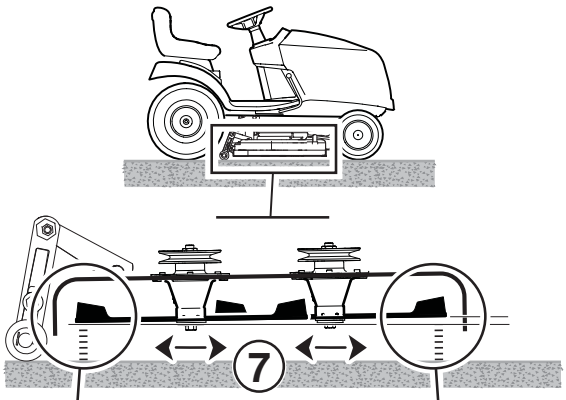


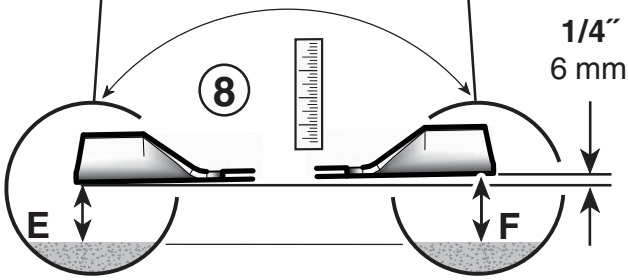


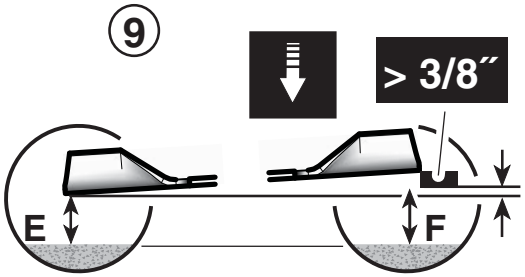
9/16

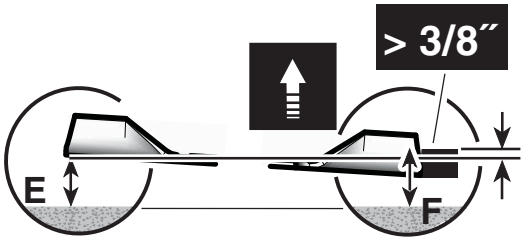

6
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

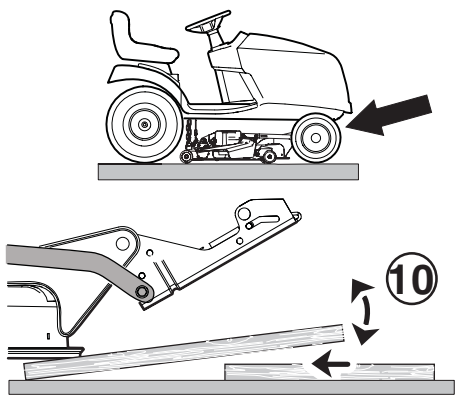

7
1
2
10 psi
0,68 bar
12-14 psi
0,82-0,96 bar
3
4
5
< 1/8″
(< 3 mm)
A
B
9/16″
C
6
D
A
11 lb-ft
15 Nm
B

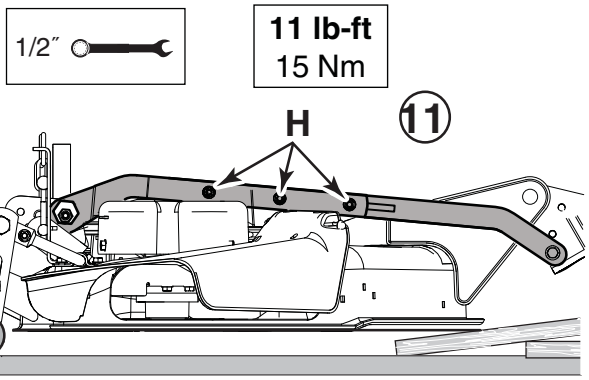

7

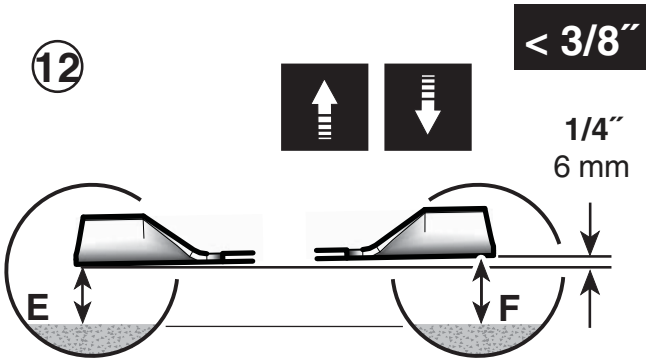

8
1/4″
6 mm
E
F

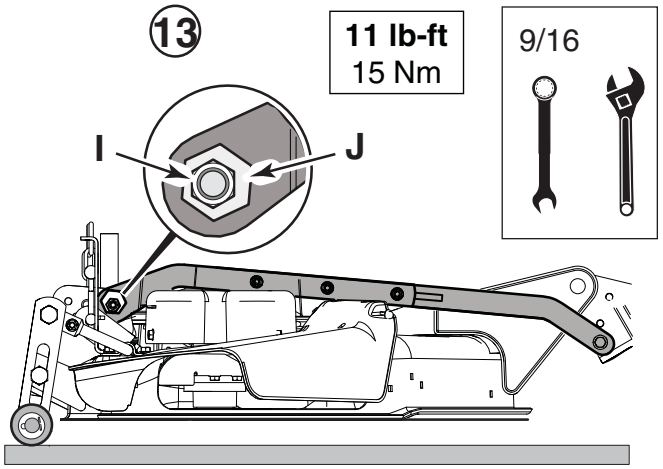

9
> 3/8″
1/4″
6 mm
E
F


> 3/8″
1/4″
6 mm
E
F

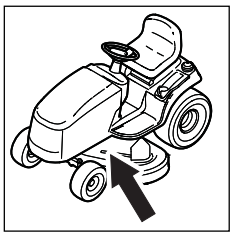

10

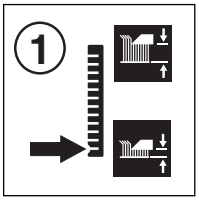

1/2″
11 lb-ft
15 Nm
H
11

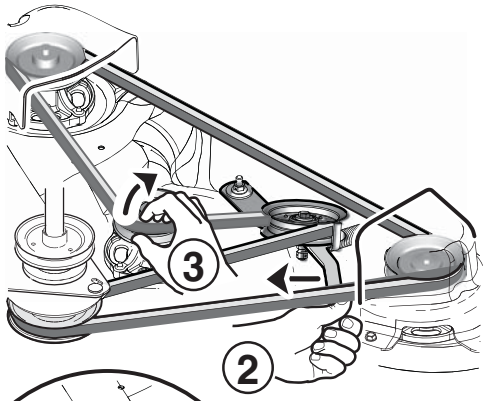

12
< 3/8″
1/4″
6 mm
E
F

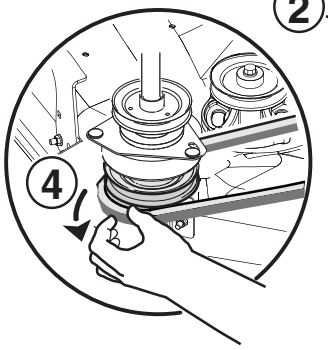

13
11 lb-ft
15 Nm
9/16
I
J

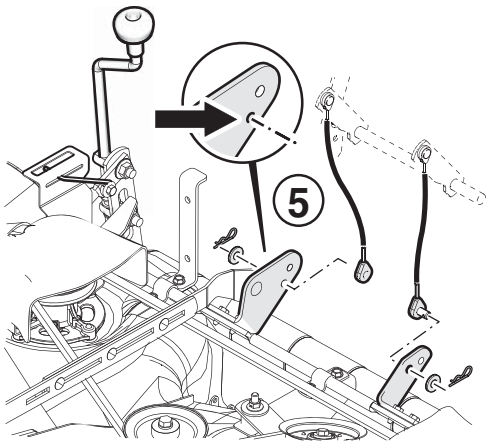
8

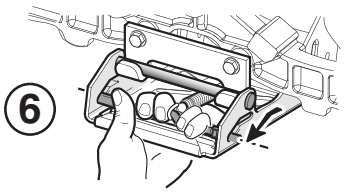


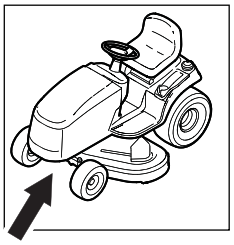

1

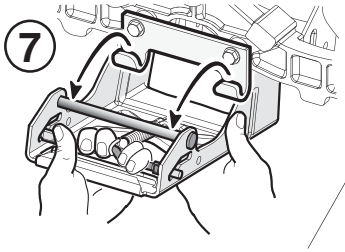

3
2

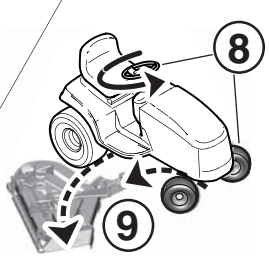

4


5

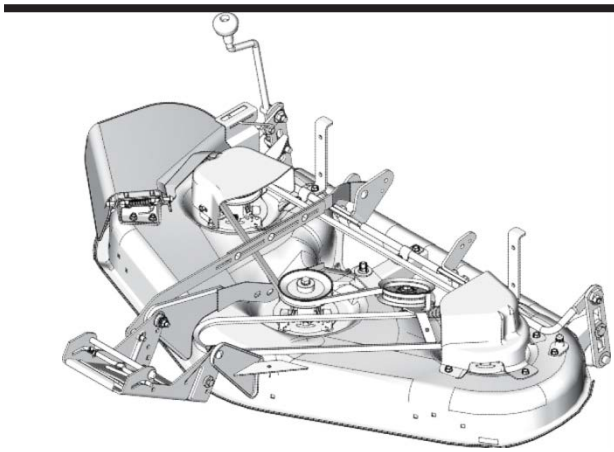

6




7


8
9

46” モアデッキ



安全について

警告

本書または操作マニュアルに記載の安全警告および手順を読むこと、従うことを怠った場合、死亡、重傷事故、および/または物損事故を引き起こす場合があります。

安全に関する記号およびその説明

この安全警報シンボルは、人身傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報を特定するために使用されます。信号語（危険、警告または注意）は、傷害の可能性 および潜在的な深刻さを示す警報シンボルと共に使用され ます。また、危険シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。

危険 は避けられなかった場合に、死或いは重症なケガになる危険を示します。

警告 は避けられなかった場合に、死或いは重症なケガになる可能性のある危険を示します。

注意 は避けられなかった場合に、軽い、或いは中程度のケガの可能性のある危険を示します。

注意 （シンボルなしで使用） は製品の損傷につながる状態を示します。

警告 切断または裂傷の危険

- エンジンが起動中または刃が回転中に調整または修理を行ってはなりません。
- 回転する部品の近くまたはモアデッキの下に手や足を置いてはなりません。
- 吐き出し口には決して近づいてはなりません。
- 芝刈機の刃は鋭利なので、取り扱い中は厚手の手袋を着用してください。
- 複数のナイフを持つ芝刈機の場合、一つのナイフが回転すると他のナイフもまた回転することがあります。

警告 物体が飛ぶ危険

- デフレクター（排出口カバー）または完全なグラスキャッチャー部品（装備されている場合）が適切に取り付けられていない場合、モアデッキまたはトラクターを使用してはなりません。
- デフレクター（排出口カバー）およびグラスキャッチャー部品（装備されている場合）に破損またはスリ切れがないかどうかを頻繁に確認し、必要に応じて修理／メーカー推奨部品と交換してください。

注意 蓄積エネルギーの危険

モアデッキまたは伝動ベルトの取り外しまたは取り付け時は張力バネに手を近づけないようにしてください。

警告ラベルと指示ラベル

警告

本機には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

安全インターロックシステム試験

トラクターには安全インターロックシステムが装備されています。このシステムは安全のために装備されています。スイッチおよび機器をバイパスさせたり手を加えたりしないでください。システムのチェックには操作マニュアルにリストされている安全インターロックシステムテストを使用します。

デッキを取り外して再度取付ける場合、このテストを行わなければなりません。

1 手順の準備

1. トラクターを堅い平らな場所に置きます。
2. モアデッキを最低刈高に設定します。
3. 駐車ブレーキをかけます。
4. PTO を「OFF」にします。
5. エンジンを停止し、エンジンキーを取り外します。
6. スパークプラグワイヤーを外します。

2 ナイフの手入れ

> ⚠ **警告**
>
> ナイフの取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用してください。ナイフは非常に鋭利であり、深刻なケガに繋がる可能性があります。安全のために、ナイフが破損している場合は交換しなければなりません。

メモ：ナイフの修理を行う場合はデッキを取り外さなければなりません。*（デッキの取り外し*の項参照）

1. ナイフを取り外す場合、ナイフ取り付けボルトを緩めるときにナイフが回転しないように木片を使用します。
2. ナイフの状態が良好である場合、22～28 度に研ぎます。
3. 既存の刃先を越えてナイフを研いではなりません。
4. ナイフを研いだ後、バランスが取れていることを確認します。潤滑油を塗布した釘をナイフの中央穴に位置付けます。バランスの取れたナイフは水平を保ちます。必要であれば、ナイフの先端を深く研いでナイフのバランスを修正します。
5. 図に示すように、モアデッキの方向にエアリフトが向くようにナイフを再度取り付けます。

> ⚠ **警告**
>
> ナイフ取り付けボルトはスプリングワッシャー（A）と共に取り付けなければなりません。
> ナイフ取り付けボルトは、図に指示されたトルクで締め付けてください。

3 注油

グリースニップルは3つの軸(A)にあります。
アイドラープーリー(B)は注油の必要がない密封ベアリングを装備しています。

4 ベルトの交換

取り外し

1. モアデッキを最低刈高に設定します。
2. ベルトカバーを取り外します。
3. アイドラーアームを動かしてベルト張力を緩めます。
4. ベルトをPTOプーリーから取り外します。
5. ベルトをスライドさせてプーリーとベルトガイド(A)の間から外します。必要に応じてボルトを緩めます。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の方法で行ってください。

メモ：新しいベルトを取り付けた後、ベルトガイド(A)の間隔を確認します。ベルトから約1/8インチ(3.3 mm)でなければなりません。

5 デッキ部品

刈高調整ロッド

1. ナットを取り外します。
2. 図に示すように刈高調整ロッドを回転します。
3. 下側のネジを挿入し、ナットで両方のネジを締め付けて固定します。

デフレクター（排出口カバー）

4. 図に示すようにスプリングの下にブラケットを挿入します。
5. ドライバーを使用してブラケット穴を一列に並べてナットを取り付けます。十分に締め付けます。

> **警告**
>
> 目の保護具を着用 - スプリングには大きな張力があります。

ヒッチ

6. アームとヒッチから、ボルト、ワッシャー、スペーサー、ナットを取り外します。
7. ヒッチを前方向に回します。
8. 図に示すようにボルト、ワッシャー、スペーサー、ナットで、アームとヒッチを取り付けます。

6 デッキの取り付け

1. モアデッキを最低刈高に設定します。
2. ホイールを完全に左まで回します。
3. トラクターの右下にモアデッキをスライドさせます。
4. デッキヒッチのロッドを引きます。
5. ヒッチを持ち上げてハンガーの上に置きます。
6. ロッドを押し入れて固定します。
7. 図に示すようにトラクターデッキリフトケーブルを下部穴に取り付けます。
8. ベルトをPTOプーリーに取り付けます。
9. アイドラーアームを動かしてベルト張力を緩めます。
10. 図に示すようにベルトを残りのプーリーに取り付けます。

7 デッキの平準化

> **警告**
>
>
>
> ナイフの取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。ナイフは非常に鋭利であり、深刻なケガに繋がる可能性があります。

1. モアデッキの刈高を中ぐらいに設定します。
2. ホイールを真っ直ぐに回します。
3. 図に示すようにタイヤ空気圧を設定します。

左右

4. 芝刈機の外側のナイフが左右を向くようにします。
5. 外側先端と地面の距離を測定します。

   測定値AとBの差は1/8インチ(3 mm)以下でなければなりません。
6. 調整が必要な場合

- ロックナット(C)を緩めた後、偏心ナット(D)を回して芝刈機の左側を上げるまたは下げます。
- 芝刈機が水平になれば、偏心ナットを固定したままでロックナット(C)を締め付けます。図に示されたトルクで締め付けます。

前後

7. 芝刈機の右および中央のナイフが前後を向くようにします。
8. 図に示すように外側先端と地面の距離を測定します。測定値(F)は測定値(E)より1/4インチ(6 mm)高くなければなりません。
9. 3/8インチ(3 mm)以上の調整が必要である場合：
10. 2枚の板を使用してデッキ前部を支えます。
11. 調整ロッドのボルト(H)を緩め、ステップ8に従ってデッキが平準化するまで板を調整します。図に示されたトルクで締め付けます。
12. 3/8インチ(3 mm)以下の調整が必要である場合：
13. ロックナット(I)を緩め、偏心ナット(J)を回してデッキ前部(F)を上げまたは下げ、後部(E)よりも1/4インチ(6 mm)高くなるようにします。

    偏心ナットを保持しながらロックナット(I)を締め付けます。

8 デッキの取り外し

1. モアデッキを最低刈高に設定します。
2. アイドラーアームを動かしてベルト張力を緩めます。
3. 図に示すようにベルトをプーリーから取り外します。
4. ベルトをPTOプーリーから取り外します。
5. トラクターリフトケーブルを取り外します。
6. デッキヒッチのロッドを引きます。
7. ヒッチを持ち上げてハンガーから取り外します。
8. ホイールを完全に左まで回します。
9. トラクターの右側からデッキをスライドして外します。

MEMO

BARONESS®

Quality on Demand

株 式 会 社　共　栄　社

〒442- 8530
愛知県豊川市美幸町1 - 26

TEL (0533) 84 - 1221
FAX (0533) 84 - 1220

GM117A--UM--JPZ/15F-00-KES